

リアホナ



表紙の記事——
モルモン書を読みましょう
2, 7ページ

ポルノグラフィで人生を台なしにしない
18, 22ページ

たまもの
聖霊の賜物
「フレンド」4ページ

リアホナ



表紙

表紙—絵/ジェフリー・ヘイン
裏表紙—写真/ウェルデン・C・
アンダーセン、クレグ・ダイヤモンド、
ドン・O・ソープ



「フレンド」表紙

写真/マービン・K・ガードナー



「永遠なるもの」のための時間
44ページ参照

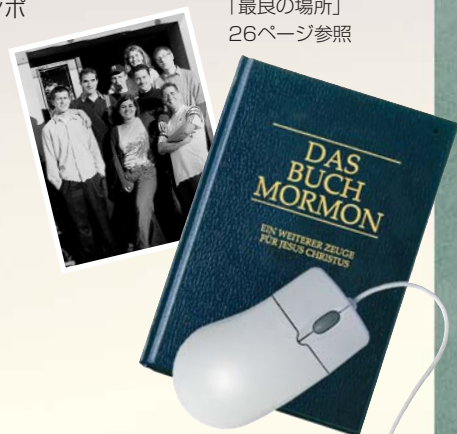
一般

- 2 大管長会メッセージ—力強い、^{あかし}真実の証 大管長 ゴードン・B・ヒンクレー
- 7 変わらぬ預言者の召し
- 8 家族を強める—結婚のきずなの中で
- 10 教義と聖約からのメッセージ—人生を変えた家族歴史 地域七十人 カルロス・A・ペレス
- 12 見つけました!
- 18 インターネット汚染と戦う マリオ・ヒボル
- 25 家庭訪問メッセージ—人生の目的に関する知識を喜びとする
- 30 七十人定員会 七十人会長会 アール・C・ティンギー
- 34 教義と聖約早見表 表2—第65章から第137章まで
- 40 末日聖徒の声
思いもしなかった助言 バート・ベンソン
筆紙に尽くし難い喜び ヒルド・ロッシージョ・フロレス
2度守られて パメラ・M・ムーディー
- 48 読者からの便り

青少年

- 16 599人のバプテスマ ウィルソン・アーレー・オカンボ
- 22 質疑応答—ボルノグラフィーのせいで生活が
めちゃくちゃになりそうです。
どうしたらよいのでしょうか。
- 26 最良の場所 ジャネット・トーマス
- 33 ポスター—黄金でできた版。
でも、刻まれた言葉には
黄金以上の価値がある。
- 39 御存じでしたか?
- 44 永遠の事柄のための時間 アダム・C・オルソン

「最良の場所」
26ページ参照



フレンド

- F2 預言者の声—^{うた}歌の上手なカナリア
^{だいいちふくかんちょう}第一副管長 トーマス・S・モンソン
- F4 分かち合いの時間—^あせいれいのたまもの マーガレット・リファース
- F6 デビッド・O・マッケイだいかんちょうのしょうがいから—^{まな}ダンディーから学んだこと
- F8 イエスを愛で^あ囲む ジェーン・マクブライド・チョート
- F10 バプテスマと^{かくにん}確認を行うための力
- F11 特別な証人—^{ちようろう}M・ラッセル・バラード長老は^{ひと}どんな人?
- F12 小さなお友だちへ—^{ともだちづく}オードリーの友達作り ラーリー・ノエ
- F14 友だちになろう—^すエクアドル、グアヤキルに住むハンス・ニエト マービン・K・ガードナー

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)
大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー, トーマス・S・モンソン,
ジェームズ・E・ファウスト

十二使徒定員会:ボイド・K・バッカー, L・トム・ベリー, ラッセ
ル・M・ネルソン, ダリン・H・オクス, M・ラッセル・バラ
ード, ジョセフ・B・ワースリン, リチャード・G・スコット, ロバ
ート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, ヘンリー・B・アイ
リング, ディーター・F・ウークトドルフ, デビッド・A・ベドナー

編集長:ジェイ・E・ジェンセン

顧問:モンティ・J・ブラフ, ゲーリー・J・コールマン

実務運営ディレクター:デビッド・フリッシュニク

企画編集ディレクター:ピクター・D・ケーブ

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

機関誌編集ディレクター:リチャード・M・ロムニー

編集主幹:マービン・K・ガードナー

編集スタッフ:コレット・ネベカー・オース, スーザン・バレット, シャナ・バト
ラー, ライアン・カー, リンダ・ステール・クーパー, ラリオン・ポーター
・ガント, ジェニファー・L・グリーンウッド, R・バル・ジョンソン, キャ
リー・カステン, メルビン・リービット, サリー・J・オデカーク, アダム
・C・オルソン, ジュディス・M・パーラー, ビビアン・ポールセン, ドン・L
・サール, レベッカ・M・テラー, ロジャー・テリ, ジャネット・トーマス,
ポール・バツデンバーグ, ジュリー・ワール, キンバリー・ウェーブ

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:スコット・パン・カンペン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:ハワード・G・ブラウン, トーマス・S・チャイルド,
レジナルド・J・クリステンセン, キャスリーン・ハワード, デニス・カー
ビー, タッド・R・ピーターソン, ランドール・J・ピクストン, カリ・A・トッド,
クラウディア・E・ワナー

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

印刷ディレクター:クレグ・K・セジウィック

配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替
(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-
41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ
……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリ
スト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 2,400円(送料共)
半年予約 1,200円(送料共)
普通号/大会号 200円

「リアホナ」への投稿および質問は、下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
電子メール:cur-liahona-imag@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下
の言語で出版されています。

アイスランド語, アルバニア語, アルメニア語, イタリア語, インドネシア語, ウクラ
イナ語, 英語, エストニア語, オランダ語, 韓国語, カンボジア語, キリバツ語, クロ
アチア語, サモア語, シンハラ語, スウェーデン語, スペイン語, スロベニア語, セ
ブア語, タイ語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, 中国語, チェコ語, テルグ語, デ
ンマーク語, ドイツ語, トンガ語, 日本語, ノルウェー語, ハイチ語, ハンガリー語,
フィジー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ベトナム語, ポーランド
語, ポルトガル語, マジャル語, マタガスカル語, モンゴル語, ラトビア語, リト
ニア語, ルーマニア語, ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2005 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷:日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭におい
て臨時に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている
場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、

Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール——
cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月

原題—International Magazines August 2005.

Japanese. 25988 300

「リアホナ」は、教会のホームページwww.lds.org (英語)に様々な言語で
掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をク
リックしてください。その他の言語は世界地図をクリックしてください。

For Readers in the United States and Canada:

August 2005 no. 8 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is
published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East
North Temple, Salt Lake City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per
year; Canada, \$16.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt
Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days' notice
required for change of address. Include address label from a recent issue; old
and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions
and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription
help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American
Express) may be taken by phone. (Canada Postage Information:
Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center,
Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

「リアホナ」の活用法

家庭の夕べのための アイデア



クラスや家庭において、
『リアホナ』を使ってより効
果的に福音を教えるため
に、このページに提案され
ているアイデアを役立てる
ことができます。

「結婚のきずなの中で」8ページ——
結婚式の写真を見せ、「結婚のきずな」
とは何であるか尋ねてください。「愛の
きずな」の項を読んでください。愛の
きずなによってもたらされる祝福につ
いて、この記事ではどのように述べら
れているのでしょうか。「家庭の愛」(『賛
美歌』181番)の歌詞を読むか歌った
後、記事の最後の引用文と一緒に読
んでください。「家庭の愛」という目標
を達成するために、家族はどのような
ことができるか、話し合ってください。

「インターネット汚染と戦う」18ペー
ジ——モーサヤ書第4章30節を読んで
話し合ってください。ふさわしくないも
のを見ることは、どのような結果を招く
のでしょうか。家族と一緒に、コンピュ
ーターを使用する際のルールを作っ
てください。そのリストをコンピューター
のそばにはってください。

「最良の場所」26ページ——記事に
よると、インスティテュート・アウトリー
チセンターとはどのような施設でしょ
う。地元のインスティテュートのクラス
に家族で訪問することを検討してくだ
さい。インスティテュートに登録してい
ないヤングシングルアダルトと一緒に
行くことを祈りの気持ちで検討してくだ
さい。

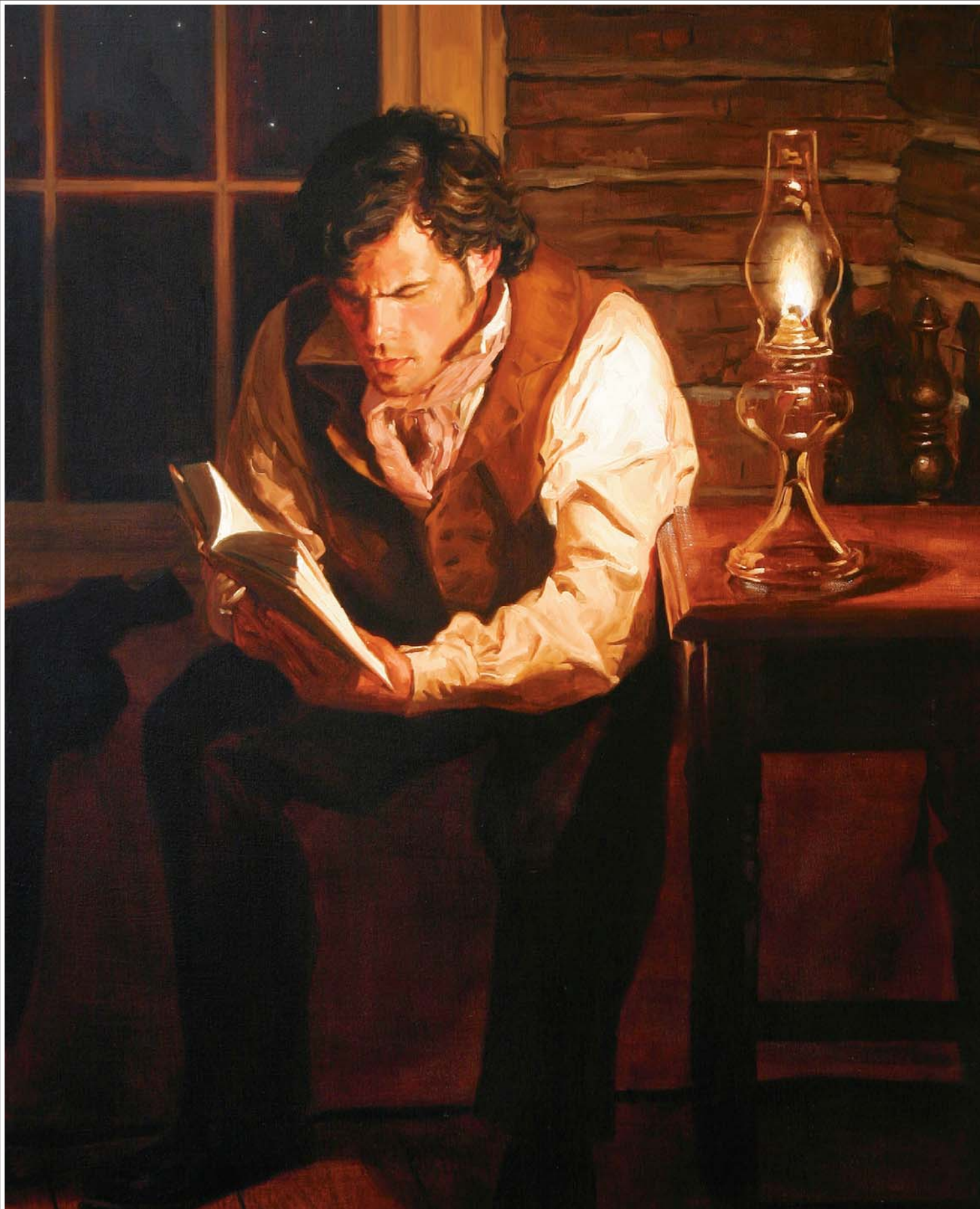
「永遠の事柄のための時
間」44ページ——穀物(米な
ど)を瓶に入れた後で、小石
を入れてみます(ちょうど入
るよりも多めの小石を入れ
る)。一度中身を全部出し、石、穀物
の順に入れると、両方全部入ります。
記事を読み、石と穀物は何を象徴して
いるのかを話し合ってください。永遠
の事柄のために、まず時間を取ること
は、なぜ大切なのでしょう。

「歌の上手なカナリア」F2ページ——
マッキー姉妹とカナリアの話を、一緒
に読むか自分の言葉で話してくださ
い。ビリーの絵を描き、ビリーについ
て学んだことを書くよう家族に言っ
てください。これからの1週間、この話か
ら学んだことをどのように応用できる
か、考えを家族に言ってもらいます。

今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略

愛	8, 40, F2, F8	神権	30, F10
証	2, 40	神殿	10, 12, 16
イエス・キリスト	F8	救いの計画	25
インスティテュート	26	スミス, ジョセフ	
インターネット	18		25, 34
教えること	1	聖文研究	2, 7, F14
改宗, 改心		聖約	8, F4
	2, 10, 16, 40	聖霊	F4, F10
確認の儀式	F4, F10	伝道活動	16, 26, F14
家族	8, 12, 44	独身成人	26
家族歴史	10, 12, 16	バラード, M・ラッセル	
家庭の夕べ	1		F11
家庭訪問	25	フェローシップ	
教会歴史	34, 39		26, F12
教義と聖約	10, 34, 39	ホームティーチング	6
悔い改め	22	ポルノグラフィ	
結婚	8, 40		18, 22
七十人	30	守り	18, 40
指導性	30, 39	モルモン書	2, 7, 33
従順	F6	優先順位	44
初等協会	F4	喜び	25, 40



ち か ら づ よ

力強い、 真実の証

あ か し

だいかんちょう
大管長

ゴードン・B・ヒンクレー

「長ながき沈黙ちんもく破やぶりて出いづ」という賛美歌さんびかは、
末日聖徒まつじつせいとに親したまれ、集會しゅうかいでもしば
しば歌うたわれています。この曲きょくの
歌詞かは、150年ねん以上も前まへにパーリー・P・プラッ
ト長老ちやうろうによって書かけられました。¹ プラット長老ちやうろうが
書かいたこの歌詞かは、1冊しよまつの驚嘆きょうたんすべき書物しよまつが
奇跡きせき的な方法ほうほうで世よに出でされたことを宣言せんげんして
います。ちやうど176年前ねんの秋あき、ニューヨーク州しゅう
のバルマイラで、その書物しよまつが初めて活字いんさつに組
まれ、印刷しんさつされました。

パーリー・プラットがその書物しよまつに出会であった
経緯けいゐには、霊れいが鼓舞こぶされます。後のちに彼かれはその
書物しよまつについて賛美歌さんびかの歌詞かを書かいたのです。
1830年8月がつ、説教師せつきやうしであった(とはいえ有給ゆうきゅう
の聖職者せいしやくしやではなかった)パーリーは、オハイオ州しゅう
からニューヨーク州東部とうぶへ向けて旅たびをしてい
ました。エリー運河うんが沿いぞのニューアークあで船ふねを
降りおり、10マイル(約16キロ)歩あるき、バプテスト
教会きやうかいの執事しつじでハムリンと名乗なる人ひとに出会であいま
す。ハムリンは「ある本ほんについて話わしてくれた。
奇妙きみょうな本ほん、『ほんとうに不思議ふしぎな本ほん』について
だ。……なんでもその書物しよまつは、もともとイスラエ
ルのある部族ぶぞくの子孫しこんが金きんか真鍮しんちゆう
でできた版はんに
書かいたものだという。また、その版はんを発見はっけんして
ほんやく
翻訳ほんやくしたのは、ニューヨーク州バルマイラの近

くに住すむ青年せいねんで、この青年せいねんは示現しげんを受けた、あ
るいは天使てんしの助けたすけを受けたということであ
った。そこでハムリンに、どこでどうやってその
書物しよまつを手てに入れることができるか尋ねると、
明日家あしたいえに来ればじっくり読よませると言いってくれ
た。……翌朝あしたあさ、ハムリンの家いえに行いき、そこで初
めてモルモン書しよを見たのだ。これこそまさに、
どの書物しよまつにも勝まさって価値かちある書物しよまつ、……神かみ
の手ての中なかに置おかれた書物しよまつ、その後のわたしせんの全
人生じんせいを導みちびくこととなる書物しよまつであった。

大いに期待おおいしながらその書物しよまつを開ひらき、タイト
ルページに目めを通とおした。続つづいて、ジョセフ・ス
ミスがどのように金版きんぱんを発見はっけんし、翻訳ほんやくしたか
について、証人しやうにんたちの証あかしを読よんだ。それから、
書かかれている順じゆんに中身なかみを読よみ始めた。終日しゅうじつ読
み続つづけた。食しょく事じをする間まも惜おぼしく、夜よが来きても
寝ねる時間じかんが惜おぼしかった。眠ねむるよりも読よんでいた
かった。

そのようにして読よんでいると、主しゆの御霊みたまが降くだ
り、その書物しよまつが真実しんじつであることを悟さとった。人が
自分じぶんの存在そんざいを認識にんしきするように、はっきりと、一点
の疑うたがいもなく、その書物しよまつが真実しんじつであることを
理解りかいしたのである。²

当時とうじパーリー・P・プラットは23歳さいでした。モ
ルモン書しよを読よんで非常ひじょうな感銘かんめいを受けた彼は、



モルモン書しよによって
人生じんせいが
大きく変かわったのは、
パーリー・P・プラット
だけではありません。
信仰堅固しんこうけんこな人々ひとびとが
深い感銘かんめいを受け、
その後数年のちすうねんにわたり、
少なからぬ人々ひとびとが、
自らの証あかしに忠実ちゅうじつであらう
とするがゆえに、
命いのちをささげたのです。

ジェフリー・ヘイン画。背景写真/ジェド・A・クラマー

すぐさまバプテスマを受けて教会に入り、教会の最も力強く影響力のある擁護者となりました。パーリーは務めを果たしながら、現在のアメリカ合衆国を東海岸から西海岸まで横断し、カナダへ、そしてイギリスへ旅をしました。太平洋の島々でも働き、末日聖徒の宣教師として初めて南アメリカの土を踏みました。そして1857年、アーカンソー州で伝道していたときに、背後から銃で撃たれ、殺害されます。パーリー・P・ブラットの遺体は、アーカンソー州のアルマに近い農村に葬られました。今ではその静かな場所に、光沢のある大きなみかげ石でできた墓石が立っています。墓石には、パーリーが書いたもう一つの歌詞が刻まれています。その偉大で預言的な言葉から、彼がどのようなビジョンでこの業に携わっていたかがうかがえます。

夜明けだ、朝明けだ
シオンの旗掲げよ
明るい夜明けだ
厳かにあまねく
朝日は昇り行く

聖い光の前に
遍ちの雲は消える
栄光はあまねく
世界に広がり
いまや輝かん³

モルモン書によって人生が大きく変わったのは、パーリー・P・ブラットだけではありません。モルモン書の初版が世に広まり、読まれていくうちに、何百人もの信仰堅固な人々が深い感銘を受け、この世の一切のものを捨てました。また、その後数年にわたり、少なからぬ人々が、この比類なき書物が真実であるという自らの証に忠実であろうとするがゆえに、命ささげたのです。

初版が発行されてから175年以上たった今日、モルモン書は発行以来最も多くの人々に読まれています。初版本は5,000部でしたが、今や毎年500万部が発行され、抜粋版を含める



**初版本は
5,000部でしたが、
今や毎年500万部が
発行され、
抜粋版を含めると
106の言語に
翻訳されています。**

と106の言語に翻訳されています。

モルモン書は永遠の真理であり、全人類のための書物です。モルモン書にはまた、それが真実であることが神の力によって明らかにされるといふ約束が記されています。そのような書物はほかにありません。

モルモン書の起源は驚くべきものであり、モルモン書が世に出た経緯を聞く人は、初めはほとんど信じられないかもしれません。しかし、モルモン書は確かに実在し、手に取って読むことができます。だれもその実在自体を否定することはできません。これまでモルモン書の起源について、ジョセフ・スミスが語った以外の説明をしようと試みられてきましたが、いずれも証拠に欠けています。モルモン書は、古代アメリカの記録です。聖書が旧世界で記録された聖典であるように、モルモン書は新世界で記録された聖典です。この二つの聖典は互いにもう一方の聖典に言及しています。両方とも、靈感の霊が宿っていて、人に確信を与え、人を改心させる力を持っています。この二つはともに手を携えて、イエスがキリストであり、復活した御方であり、生ける神の生ける御子であられることを証しています。

モルモン書は、はるか昔に地上から姿を消した文明の歴史を述べていますが、そこに描かれている問題は今日の社会問題と何ら変わりなく、朝刊と同じくらいタイムリーであるとともに、朝刊よりもずっと信頼でき、靈感によって記され、読む者に靈感を与える解決策が示されているのです。

神の戒めに背いた社会がたどる悲劇の道をこれほど明確に記した書物を、ほかに知りません。モルモン書には、西半球に栄えた二つの文明のことが記されています。いずれの文明も、最初は少数の民から起こり、皆、主を畏れながら歩んでいました。しかし国が栄えるにつれて悪が広がり始め、民は野心に燃えたる賢い指導者たちの甘言に乗せられます。指導者は重税を課し、うわべだけの約束でだまして、ふしだらな生活を許したばかりか、奨励さえしていきます。このじゃあく、さぐりやく、そむ、しやかい、ひげき、みち、めいかく、たみ、やんしん、ちんち、しゃかいもんだい、なん、か、ちやうかん、おな、る問題は今日の社会問題と何ら変わりなく、朝刊と同じくらいタイムリーであるとともに、朝刊よりもずっと信頼でき、靈感によって記され、読む者に靈感を与える解決策が示されているのです。



この偉大な文明は、時代は異なりこそすれ、最終的にはこの地上から完全に消滅してしまっただけです。

民であれ国家であれ、神を恐れ、神の戒めに従うならば、繁栄と発展を享受しますが、神を軽視し、神の言葉に注意を払わなくなると、民は墮落し始め、義をもって食いつめなげなくなり、無力になり、滅びに向かいます。この事実をかくも明解に説いた書物は、モルモン書においてほかにありません。旧約聖書の箴言にある次の聖句を、モルモン書ははっきりと裏づけています。「正義は国を高くし、罪は民をはずかしめる。」(箴言14:34)

神は天から、預言者を通してアメリカ大陸の民に語られました。預言者たちは真の安全を得る方法を教えました。「見よ、この地はえり抜き之地であり、この地を所有する民はどの国民も、この地の神に仕えさせれば、奴隷の状態にも囚われの身にもなることなく、天下のほかのどのような国民からも支配を受けない。この地の神とはイエス・キリストである。」(エテル2:12)

現代社会をむしばむ様々な問題に関するモルモン書の言葉には力がありますが、モルモン書のメッセージの中で、最も偉大で、最も心を

揺さぶられるのは、イエスがキリストであり、約束されたメシヤであられるという、力強い、真実の証です。イエスは土ほこりの立つパレスチナの道を歩き、病人を癒し、救いの教義を説かれました。また、カルバリの十字架上で亡くなり、3日後に墓からよみがえって、多くの人々の前に御姿を現されました。さらに、前に告げていたように、昇天する前にこの西半球に住む民を訪れられたのです。「わたしにはまた、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らも、わたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、ひとりの羊飼となるであろう。」(ヨハネ10:16)

何世紀もの間、ナザレ人イエスの神性を証する聖典は、聖書ただ一つしかありませんでした。しかし今や聖書に加えて、「ユダヤ人と異邦人に、イエスがキリストであり、永遠の神[であられる]ことを確信させる」ために世に出た、第2の力強い証があるのです(モルモン書タイトルページ)。

先に述べたように、ちょうど176年前のこの時期、「神の賜物と力により」(モルモン書タイトルページ) 翻訳されたモルモン書の初版が、ニューヨーク州パルマイラの小さな印刷所で活字が組まれ、

現代社会を むしばむ 様々な

問題に関する
モルモン書の言葉には
力がありますが、
モルモン書の
メッセージの中で、
最も偉大で、最も心を
揺さぶられるのは、
イエスがキリストであり、
約束されたメシヤ
であられるという、
力強い、真実の証です。



印刷されました。その発行は、1830年4月6日に末日聖徒イエス・キリスト教会が設立される先駆けとなりました。

教会では昨年、日曜学校でモルモン書を学びました。それを承知のうえで、わたしは全世界の教会員と友人の皆さんに一つのチャレンジをします。モルモン書を読んでください。あるいはもう一度読み直してください。毎日1章半を少し上回るくらい読めば、今年中に全部読み終えることができますでしょう。239章全部を読み終える時が近づくと、皆さんは預言者モロ

ナイが16世紀近く前に記録を完成させたときに書いた次の約束を読むでしょう。

「わたしは、これらのことを覚えておくように勧める。わたしが偽りを言っていないことが、あなたがたに分かる時がすぐに来るからである。あなたがたは、神の法廷でわたしに会うであろう。そして、主なる神はあなたがたに、『わたしはあなたがたに、死者の中から叫ぶもののように、まことに地の中から語るもののように、この人が書き記したわたしの言葉を告げなかったか』と言われるであろう。……

また神は、わたしの書き記してきたことが事実であるということをおぼすことをあなたがたに示されるであろう。」(モロナイ10:27, 29)

わたしは皆さんに、何のためらいもなくはっきりと約束します。これまで何度読んだかに関係なく、皆さん一人一人がこの簡単なチャレンジを実行するなら、皆さんの生活や家庭の中に、さらに豊かに主の御霊が注がれるようになるでしょう。そして、主の戒めに従って歩もうとする決意が強められ、神の御子が確かに生きておられることがさらにはっきりと分かるようになることでしょう。■

注

1. 『賛美歌』10番参照
2. *Autobiography of Parley P. Pratt*, パーリー・P・プラット・ジュニア編 (1938年), 36-37
3. 「夜明けだ、朝明けだ」『賛美歌』1番

ホームティーチャーへの提案

よく祈って準備した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて、このメッセージを分かち合ってください。いくつかの例を以下に紹介します。

1. モルモン書を読む、あるいはもう一度読み直すという目標を達成する人にピンクレー大管長が約束していることについて話し合う。

2. モルモン書から好きな話や聖句を紹介するよう、家族に勧める。モルモン書をさらによく理解し研究するために、どのような方法があるか家族と話し合う。モルモン書を定期的に研究することからもたらされる祝福について証する。

3. あなたのモルモン書（研究して様々な印を書き込んでいるもの）を家族に見せる。モルモン書が大切な理由を自分の言葉で説明するよう家族に勧める。モルモン書が真実の書物であるという証を得たときのパーリー・P・プラットの話と一緒に読む。モルモン書についての証を述べる。教会制作のビデオ「大いなる富」（訳注——『主の導き1』〔53670 300〕に収録されている）から、関連する場面を見せることを検討する。



変わらぬ預言者の召し

末日の預言者たちは、
モルモン書が神の子供たちの生活に与える
力と影響について、一貫して証してきました。
教会員がこの半世紀に受けた勧告には
次のようなものがあります。

デビッド・O・マッケイ大管長 (1873-1970年)

「モルモン書が確かに神の言葉であると証します。また、天と地との交流が再開され、真心からキリストを信じる人々が必要な知識や祝福を受けられる正しい方法が、地上の人々に示されたことを証します。」(“Marks Pointing to Authenticity of Book of Mormon,” *Instructor*, 1952年10月号, 318)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 (1876-1972年)——「教会員で、モルモン書を真剣かつ慎重に読んだことのない人は、神の前において認められることは決してないでしょう。」(Conference Report, 1961年10月, 18)

ハロルド・B・リー大管長 (1899-1973年)——「わたしは、預言者ジョセフ・スミスがモルモン書の価値を強調するために兄弟たちに与えた勧告の言葉には、多くの人々が述べている言葉よりもはるかに重要な意義があると、いつも思っています。それは次のような勧告です。『わたしは兄弟たちに言った。「モルモン書」はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。』(モルモン書序文, xii)……

神にさらに近づきたいと思う人は、モルモン書を読むことによって、その願いを達成することができます。」(『歴代大管長の教え——ハロルド・B・リー』65参照)

スペンサー・W・キンボール大管長 (1895-1985年)

——「〔モルモン書〕は神の言葉であり、キリストについての第2の力強い証です。贖い主を愛するまことの信者であれば、だれでも間違いなく、このもう一つの証言を喜んで迎え入れるはずです。

霊感あふれるこの書物は、権限のない翻訳家や偏見を持った神学者によって書き換えられることなく、記録者と要約者の手から直接に、純然なまま世に出されました。試されているのはこの書物ではなく、それを読む人々です。」(*The Teachings of Spencer W. Kimball*, エドワード・L・キンボール編 [1982年], 133)

エズラ・タフト・ベンソン大管長 (1899-1994年)

——「日曜学校やセミナーでは4年ごとに、モルモン書について教えています。しかし、個人や家族のモルモン書の学習まで4年に1度のペースにしてしまっ
てはいけません。モルモン書は『その教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる』書物であり(モルモン書序文, xii), わたしたちは毎日この書物を読まなければなりません。」(「モルモン経で洪水のごとく地を満たす」『聖徒の道』1989年2月号, 4)

ハワード・W・ハンター大管長 (1907-1995年)

——「モルモン書は神の言葉です。このすばらしい記録を読んでください。モルモン書は、今日地上に存在する最も優れた書物です。注意深く、祈りの気持ちで読むとき、モロナイの約束どおり、神はこれが真実であることを証してくださいます(モロナイ10:4参照)。」(*The Teachings of Howard W. Hunter*, クライド・J・ウィリアムズ編 [1997年], 54) ■





家族を強める

結婚のきずなの中で

このシリーズは、「家族——世界への宣言」の
個人的な学習と活用へのヒントを与えるものです。

「男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。」¹

神聖な結婚の聖約

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように教えています。「教会は、家庭が神聖なものであることを強調し、子供たちは主から授かった祝福であると教えています。末日聖徒が結婚の聖約の神聖さ以上に強調している原則はありません。」² 家族関係を永続させることができ



ると知っているわたしたちは、義にかなった人とふさわしい場所で結婚し、神から送られる子供を義の中で育てられるような家庭を築くことがいかに重要かを理解しています。

愛のきずな

英語のbond（きずな）という言葉には、「聖約」「一致させる力」「接着剤、補強剤」など様々な意味があります。結婚のきずなは二人を聖約の関係において一致させる愛のきずなであり、その関係は二人を強め、さらに偉大な目的を与えてくれます。そういった意味で、結婚のきずなは男性と女性を自由にし、永遠の

可能性をすべて引き出してくれます。

このような聖約の関係は、家庭の基礎となるものです。子供は聖約の上に築かれる家庭に喜びをもって迎えられ、虐待や育児放棄に脅かされることなく、愛と守りの中で学び、成長することができます。

父親と母親に育てられる

教会指導者は一貫して、母親と父親が両方そろった家族は子供が生まれ育つうえでより望ましいと述べてきました。大管長会は次のような声明を出しています。「男性と女性が結婚生活によらずに子供をもうけたときは、二人が結婚するようあらゆる努力をするべきです。年齢またはその他の環境条件より、実りある結婚生活を築ける可能性が薄い場合は、末日聖徒ファミリーサービス事務局を通して、子供を養子に出すよう未婚の親に勧めるべきです。これは、その子供が神殿に参入するふさわしさを備えた両親と結び固められるのを確実にするためです。」³ 末日聖徒ファミリーサービス事務局がない地域では、神権指導者が、合法的な機関を通じて養子縁組みを行うように勧めるべきです。

家族について研究している人たちは、教会の姿勢を支持する報告を出しています。最近ある出版物で、ひとり親、あるいは同居している両親の子供と、結婚している両親の子供を比較していました。ひとり親に育てられた子供は、多くの場合適応能力があり、責任感のある子供に育ちますが、報告では、結婚している両親とともに住む子供の方が、離婚したり未婚の親になったりする割合が全体的に低いという結果が出ています。また、比較的貧困を経験せず、より良い成績を修め、大学に進む割合が高く、失業率が低いと報告されています。結婚した両親の子供は、平均して肉体的、精神的に健康で、アルコールや麻薬の乱用、幼児虐待の被害者や加害者となる割合も低く、自殺や犯罪行為も少ないのです。⁴ 多くの場合、愛に満ちた強い夫婦関係は、親が子供に与え得る最良の贈り物となります。

男女間の結婚

男性同士、または女性同士の結婚を認めるようにという政府への要求が高まる中、教会は2004年7月に声明を発表し、結婚とは男女を法的に結びつけるものであるという定義を



愛に満ちた
強い夫婦関係は、
親が子供に
与え得る最良の贈り物です。

擁護しました。この定義は市民権の問題をはるかに超えたものです。結婚を擁護することは、父なる神が定められた制度を確固として守ることなのです。それによって、父親と母親が子供を育てるための倫理的環境を形作ることができます。

政府が同性間の結婚を合法化し、倫理的な環境を変えるなら、特に子供の間で性の混乱がさらに進み、善悪の区別はますます難しくなるでしょう(イザヤ5:20参照)。

家庭の愛

結婚は確かに神の計画に欠かせないものですが、結婚だけでは家族が直面するあらゆる問題を解決することはできません。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老(1926-2004年)はこう語りました。「賛美歌の『家庭の愛』で歌われているような望ましい姿を作り出すためには、慎重な決定が求められます。とりわけ、例えば家庭で十分な時間を過ごせるよう計画し、幸福な思い出をたくさん作ってあげることで子供に愛を示すのです。この賛美歌を歌うだけでは十分ではありません。⁵ 忙しさにかまけて犠牲にしてしまうことの多い家族のために、賢明に予定を立てることによって、賛美歌に歌われているような家庭を作ることができるのです。』⁶

夫婦で行うべき慎重な決断はそのほかにもあります。忠実であること、批判的であるなどの自分の弱さを克服すること、また互いに仕え合うことによって時間をかけて愛をはぐくむことなどが含まれます。それによって、「家庭の愛」が単なる絵空事ではなく、それぞれの家族が到達できる現実となるのです。■

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号, 49
2. *Teachings of Gordon B. Hinckley* (1997年), 5
3. 大管長会からの手紙, 2002年7月19日付
4. アメリカ人の価値観研究所, *Why Marriage Matters: Twenty-One Conclusions from the Social Sciences* *Conclusions from the Social Sciences* (2002年) 参照
5. 「家庭の愛」『賛美歌』181番参照
6. *Notwithstanding My Weakness* (1981年), 108



人生を変えた 家族歴史



南アメリカ南地域
地域七十人
カルロス・A・ペレス

先祖なしに
昇栄に至ることは
できません。
またわたしたちが
いなければ
先祖は昇栄することは
できないのです。

随分昔、まだわたしがバプテスマを受けたばかりのころです。ある姉妹が、家族歴史の作業をしていたときに感じた気持ちについて聖餐会^{せいさんあかし}で証をしました。それを聞いていたわたしは、突然子供のように泣きだしてしまいました。そのときは一体何が自分に起きたのか理解できませんでした。後になって、御霊を通して主が証されたのだと分かりました。その姉妹の証が真実であること、そしてわたしも自分の先祖のために家族歴史と神殿の業に取り組むべきであると、主は証されたのです。

わたしは、預言者ジョセフ・スミスによって書かれた、靈感に満ちた次の言葉が真実であると、心の底から感じていました。「わたしはあなたがたに断言します。これらは死者と生者に関する原則であり、わたしたちの救いに関して軽々しく見過ごすことのできないものです。彼らの救いはわたしたちの救いにとって必要であり、不可欠だからです。」(教義と聖約 128:15) わたしたちは先祖なしに昇栄に至ることはできません。またわたしたちがいなければ先祖は昇栄することはできないのです。

後年、御霊に促されておばのエスターを訪

ねました。会うのはとても久しぶりのことでした。なぜおばの家を訪れたのか自分でも分かりませんでした。おばと話しているとき、わたしは教員が取り組んでいる家族歴史について触れました。するとおばは立ち上がって家の奥へ行き、たくさんの書類が詰まった箱を携えて戻って来ました。どうすればいいのか分からないまま、長い間手もとに置いていたというのです。おばは箱を開けて見せてくれました。書類に記された数多くの先祖の名前や生年月日、死亡年月日を見て、わたしは驚きました。祖父母、おじやおばの記録もありました。家族歴史の業に着手するための情報が手に入って、どれだけ感謝したことでしょうか。

バプテスマを受けて1年後に妻とブラジル・サンパウロ神殿で結び固めの儀式を受けました。また母方の祖父母のために身代わりのバプテスマを受けました。神殿の中でわたしは、祖父母が儀式を受け入れてくれたことを感じました。

神殿で行われる素晴らしい業に対して、わたしは強い証を持っています。神殿では、家族は永遠にわたって結び固められます。永遠のきずなは強められ、家族の関係はいっそう堅固になります。

現在はウルグアイにも神殿があるので、定期的に参入しています。27年前に人生に永遠にわたる変化をもたらした感情と同じものを、これ



までに何度も
経験しました。
人生を変える
ように促し、大きな
幸福につながる霊的な経験を
求め続ける必要があることを学びました。

このように人生が大きく変化するような出来事を
経験すると、周りの多くの人に影響を及ぼすことができると
なります。それはわたしたちよりも前に地上に生を受け

た人々にも及ぶもので
す。わたしたちには偉大な
力が与えられているのですか
ら、常に活用しなければなりません。
かつて14歳の少年によって始まった業は、
地上における神の業です。神殿で執り行われ
ている業は神聖なものです。天の御父に従順に従い、
与えられる聖霊の促しに従うなら、これが神の業である
と知ることができます。そのことを証します。■

見つけ ました!

それが墓地やインターネット、古びた書類であっても、
家族の情報を探すときに主は必ず助けてくださいます。

グレース・ダイウィリ・モディバは、1984年に母親や姉妹と一緒にバプテスマを受けてから、ずっと家族歴史に関心を寄せてきました。

「おじやおばをはじめ、親戚中から得られる限りの情報を集めました。」南アフリカ・プレトリアステーク、アテリッジビルワードの会員であるグレースはそう言います。「でも、高祖父母について調べるといつも行き詰まっていたのです。わたしの祈りは、2001年のある月曜の朝にこたえられ始めました。母からいとこが亡くなったことを知らされたのです。

葬儀に出るために旅の手配をしました。行き先はボツワナ国境付近で、両親の出身地です。アテリッジビルから北へ約200キロ離れていて、ほとんど行ったことがありませんでした。

葬儀前日の金曜日に、母と姉妹二人とともに出発し、その晩遅くおばの家に到着しました。おばの家は親戚や友人でいっぱいでした。葬儀の準備を終えたときにはくたくたでしたが、おばの家には寝る場所がありませんでした。いとこの一人が、親切にも自分の家に来るよう申し出てくれ

ました。しばらく歩かなければなりませんでしたが、願うことにしました。外は真っ暗でした。でも道は静かで治安が良く、平穏でした。いとこの家に着くと、皆すぐに眠りに就きました。

翌朝、泊まり客の中でいちばん早く目覚めると、いとこはすでに起きて働いていました。洗面用の水を手渡され、身支度を終えたわたしは、外に出るよう御霊に促されました。

庭を数メートル歩くと、驚いたことに二つの墓石がありました。ゆっくり近づいて墓石を見たとき、震えるほどの衝撃を受けました。高祖父母のものであったのです。あれほど早く知りたいと思っていた、二人の名前と生年月日、死亡年月日が記されていました。急いで部屋に戻ると、庭に高祖父母の墓石を見つけたこと、ずっと二人の情報を探し求めていたことを、いとこに興奮しながら話しました。

この出来事についてよく考えてみると、すべては目的があって起きることが分かります。神が生きておられ、イエスが救い主であられることを知っています。高祖父母の情報へと導いてくださった御二方に心から感謝しています。」

このような経験は、家族歴史を熱心に探求する人の間で



よく耳にします。十二使徒定員会のメルビン・J・バラード長老（1873-1939年）は次のように証あかししました。「先祖の記録を探求しようとしている人には、御霊の導きと死者の助けが与えられます。地上のどこかに探し求めている情報があるなら、きっと見つかるでしょう。……しかし、まず探求を始めなければなりません。」¹

次は、先祖の記録を探す人が、主から促しを受け、必要な名前、日付、地名を見つけるに至った経験談です。

インターネットとカウボーイ

カリフォルニア州サンタマリア家族歴史センターのディレクター、リアン・コッシュマンは次のように書いています。「家族歴史を

驚いたことに、
庭には二つの
墓石が
ありました。そこには
あれほど早く知りたい
と思っていた高祖母の
名前と生年月日、
死亡年月日が
記されていたのです。



郡の品評会で、
展示した
家族歴史の
資料を静かに
見詰めていた
だらしない身なりの
カウボーイに
近づきました。
手伝えることはないか
と尋ねると、彼は
「両親が生きているか
どうかさえ分からない」
と言いました。

調べる多くの人と同様に、わたしも予期せぬところから情報を得たり、家族の消息が明らかになったりする、すばらしい話を幾つか知っています。次の話は、中でも特に心に残るものです。

郡の品評会に家族歴史センターでブースを出しました。『家族歴史センター「家族は永遠に」』と書いた旗が、ブースの目的を明確に示しています。そこへだらしない身なりをしたカウボーイがやって来て、台に並べた資料を静かに見詰めていました。近寄って、先祖のだれかを探す手伝いをさせてもらえないかと尋ねてみました。内気さと重い言語障害のため、会話をするのが少し難しいようでした。どうやら先祖のことは何も知らないようで、『両親が生きているかどうかさえ分からない』と言いました。その言葉がわたしの心を捕らえました。彼は10代のころ、貧しい暮らしだった家を飛び出したのです。それ以来ロデオに明け暮れてきましたが、最近になって少し落ち着いた生活を送るようになったという話でした。今は結婚して二人の子供がいました。

わたしはコンピューターの前に座るように勧めました。そして普通は生きている人のことは調べないが、父親の生死を確認できるように、合衆国社会保障死亡者索引を一緒に調べてみようと言いました。父親の名前は非常に珍しかったので、すぐに確認できるだろうと思いました。父親の名前が死亡者索引になかったときは二人ともほっとしました。恐ら

くまだ生きているのです。

インターネットでしばらく検索を続け、現住所や電話番号など、父親に関する情報を少し得ることができました。カウボーイはコンピューターの画面をじっと見詰めながら何度も言いました。『信じられない。父親だ。』父親に電話をかけるよう勧めましたが、彼はこう言いました。『それはできない。父親は口を利いてくれないと思う。母親ならまだしも、父親はだめだ。』わたしは情報を印刷して彼に渡しました。そして電話をかけづらいのなら、手紙を書いたらどうかと提案し、家出の経緯にかかわらず、両親に赦しを請うべきであることを勧めました。そして孫のことを知ったらきっと喜ぶだろうと言って、何とか励まそうとしました。

彼を見送りながら、心の中で祈りました。その後のことを知る機会はないだろうと思っていたのですが、2日後、あのカウボーイがもう一度同じ場所に立っていたのです。わたしは駆け寄って握手を求め、こう言いました。『電話をしたんだね!』

彼は言いました。『ああ。そうしたら両親が今朝6時に家に訪ねて来てくれたんだ。』

彼は礼を言おうとしましたが、言葉がうまく出てきませんでした。そこでわたしは再び手を差し出し、『何も言わなくていい。全部分かっているよ』と言いました。彼はわたしの手を強く握り締めて離そうとしません。思いを察したわたしは、前に進み出て、彼を抱き締めました。

この男性の両親を捜す手助けができたことをうれしく思います。『彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる』という慣れ親しんだ聖句に（マラキ4：6）、また新たな思いを抱くことができました。』

ほこりをかぶった書類から

アルゼンチン・ラブラタ・ビラエルピラス
テーク、ビラエルピラワードのアンヘル・ダ

ニエル・ガティカは、聖霊に導かれて必要な記録を発見した経験について次のように語っています。

「アルゼンチン中部にある実家に帰っていたとき、妻とわたしは母のおばを訪ねることにしました。大おばのきょうだいのうち、すでに亡くなった何人かが、過去5年の間、大おばの家と一緒に住んでいたからです。家族歴史探求の道を備えてくださるよう、主に祈りました。

大おばの家は、何もかも昔のままでした。大おばのきょうだいが残して行ったトランクさえも本人たちが置いた場所にそのままありました。午前中ずっと、トランクを調べさせてほしいと頼み続けましたが、大おばは気乗りしませんでした。でも昼食後に、一つだけなら調べてもよいと言ってくれたのです。わたしは靈感を求めて静かに祈り、一つ選びました。それから注意深くそのトランクを開け、黄ばんだ紙を1枚1枚取り出しました。

数分もしないうちに、大おじに関するすべての情報が入った古い冊子を見つけました。さらに探し続けた結果、ほかの大おば、大おじの情報が記された書類も見つけました。トランクの下の方には雑誌や新聞の切り抜きが入っているようでした。中身を戻してトランクを閉めたとき、もう一度確認するよう聖霊に促されました。そこで再びトランクを開いて、ゆっくりと逆さにし、書類の束を出してみました。

すると雑誌や新聞の切り抜きの上に、古いけれども大切に保管された書類がありました。そっと開いてみると「グアダルペ・セプルベダ出生証明書」と書かれていました。それはわたしよりも100年前に生まれた母方の曾祖父の名前だったのです。

大おばのところに行って行って、書類を見せました。その書類を初めて見た大おばは、手に取って大切そうにそっとなでました。

「お父さんもこれを手に取ったのね。」ささやくように言いました。そして書類を胸に抱いて涙を流したのです。大おばは書類をわたしに手渡すと、自分が死んだら、わたしを受け取れるようにすると約束してくれました。

これで必要なのは、別の大おじの誕生日だけとなりまし

た。でも、これほどの大家族の情報をすべて集めるのは無理かもしれないと思いました。

大おばに感謝し、妻と帰り支度を始めました。長い廊下を歩いているとき、何かを忘れていたことに気づきました。急いで戻って扉を開けました。するとその勢いで、書類の入った古い小さなかごが落ちてきたのです。そのかごは何年も前からそのままになっていたものです。目を向けました。『何の書類だろう。』ほこりだらけの書類からある日付が読み取れました。

そっとほこりを吹き払い、書類を開いてみました。長年置き忘れられ、よれよれになったこの手書きの書類には、

わたしが必要としていた生年月日が記されていたのです。しかもまだ読み取れる状態でした。その瞬間、聖霊がわたしの心をはっきりと貫かれ、わたしは涙を抑えることができませんでした。

「来てくれて、ほんとうにありがとう。」年老いた大おばはそう言いました。

「家に入れてくれてありがとう、おばさん。」わたしも礼を言いました。

そのときの別れのキスが、現世での大おばとの最後のキスとなりました。大おばの助けと主の靈感に感謝します。母方の曾祖父の家族は皆、永遠にわたって結び固められました。」

こうして家族歴史と神殿の業は続くのです。家族の名前や日付、場所を熱心に調べる人々から、神の助けを得たという証が次々に聞かれます。主は確かに、わたしたちが必要な情報を得るための道と方法を備えてくださいます。その結果、

すべての人が祝福を受けます。■



急 いで扉を開けると、その勢いで古いかごが落ちてきました。ほこりだらけの書類からは日付が読み取れました。

注

1. ブライアント・S・ヒンクレー、*Sermons and Missionary Services of Melvin Joseph Ballard* (1949年)、230

599人の バプテスマ

ウィルソン・アーレー・オカンボ

わたしは18歳のとき、家族の中で初めて回復された福音を見いだしました。福音が自分の家族をどのように助けてくれるかをほんとうに理解し始めたのは、バプテスマを受けた後でした。

そのような思いから家族歴史の探究を始めたわたしは、信仰を使って探求する中で、先祖に対する愛を強めていきました。どうしても先祖を見つけ出したいという思いが強かったので、先祖の地に行ってみたことも何度かありました。毎回新しい経験をし、その度にわたしの心は先祖に向けられました(マラキ4:5-6参照)。

その後、わたしはワードの家族歴史相談員に召されました。思いはさらに広がり、ワードの会員一人一人の先祖を愛するようになりました。地元の教区に残っている昔の記録、古文書、図書館などを調べるうちに、死者を贖う^{あがな}目的がさらによく理解できるようになりました。

自分の家族歴史をコンピューターディスクに保存し終えたとき、この業の中で最も大切なことをまだ成し遂げていないということに気づきました。神殿に行き、幕のかなたで待つ家族のために儀式を受け、彼らが救われて代々続く永遠の家族に加わるようにする必要があったのです。

宣教師としてボリビアのコチャバンバに召されたとき、神殿に参入することができました。2000年10月に福音を^の宣べ伝え始めました。それから数か月後、同僚とわたしは、自分た

先祖に対する
深まる愛に
鼓舞されて、
何百人という
先祖のために
家族歴史の業を
行うことが
できました。

ちの召されていたワードの青少年とともに神殿を訪れました。その際、自分のディスクを持って行き、儀式のために599人の名前を提出できたのです。

わたしが証人として見守る中、同僚は、わたしの先祖の身代わりをしてくれた青少年にバプテスマを施しました。そのとき感じた喜びはどんなに大きかったことでしょう。御霊^{みたま}がともにあり、そこで行われていることが真実であると証^{あかし}してくれました。先祖が喜び、感謝しているのを感じられました。

その日すべての儀式を終えることはできませんでした。名前が多すぎたので、神殿にお願いすることにしました。しかし、曾祖父^{そうそふぼ}父母とその子供たちの名前だけは手もとに残しておき、その月のうちに同僚やほかの宣教師の助けを借りて儀式を行いました。

天の御父に感謝しています。祖国から遠く離れた場所で、生きている人だけにバプテスマを施すと思っていたにもかかわらず、死者を贖う業にも携わることができたからです。

わたしは今も、さらに多くの人をキリストのもとに連れて来ることができるように努力しています。また、周りの人にも先祖を探求するように励ましています。わたしはこの業を愛しています。そしてこの業が真実であること、またイエス・キリストが生きていて、わたしたちを愛しておられることを知っています。■

ウィルソン・アーレー・オカンボは、コロンビア・メデリン・ベレンステーク、エンビガドワードの会員です。



インターネット 汚染と戦う

インターネットを使う家族を守るために、
コンピューターの専門家である
必要はありません。

マリオ・ヒボル

教 会の指導者たちは、インターネット上のポ
ルノグラフィー的なもの、卑俗なあるいは
不審なものを避けるようにと絶えず勧告
しています。親として、わたしたちはどのようにした
ら子供を守ることができるのでしょうか。次のよう
な方法はすでによく御存じかもしれません。コン
ピューターを家の中でも家族がいちばん出入りする
場所に置いておくこと。子供がインターネットを利用し
ているときには、信頼できる大人が必ずそばにいること。
画面にいかがわしいものが見えたら、すぐに終了するよう
子供に教えることなどです。

そのほかにも以下のように、インターネットを利用する家族をよ
りよく守るのに役立つテクニックがあります。

**コンピューター上でどのようなサイトを見ているのかを
チェックする。** 好ましくないウェブサイトに出くわしたら、親に必ず
伝えるよう、子供に教えてください。また、不適切なサイトや映像が
現れた場合の対処法を身に付けさせます。実際にコンピューター
の電源を切らなくてはならない場合もあると説明します。さらに、ブ
라우저の履歴を調べ、どんなウェブサイトを見ているか監視して
ください。履歴を調べる方法が分からなければ、ブラウザのオン
ライン・ヘルプを調べてください。

多くの場合、さかのぼって調べたい日数やサイトの数を特定する

ことができます。決まった間隔で履歴をチェックしてください。その
間隔は、効果的かつ徹底的に履歴を調べることができるように、で
きるだけ短くしておくといえでしょう。また、履歴を削除する予定も
決めておくといえでしょう。決められたとき以外に履歴が削除され
ていたなら、何らかの問題がある可能性があります。

インターネット・フィルターを使う。 インターネット・フィルター
とは、利用者のコンピューターに送られてくる前に、事前にチェック
するプログラムのことです。もしフィルターが好ましくないサイトを検
知した場合には、ユーザーに不適切なサイトだということを知らせ
てくれたり、ほかのウェブサイトに誘導してくれたりします。フィル
ターをかける方法はいろいろあります。絶対に安心と言えるものは
ありませんが、役に立ちます。

フィルターは、自分で購入することもできますし、インターネットか
らダウンロードすることもできます。インターネット・プロバイダーの中
には、サービスの一環としてその種のフィルターを提供しているところ
もあります。フィルターを概説し推奨する評判の良いウェブサイト



を訪ねて、自分の必要性に最も適したフィルターを検索することもできます。

フィルターの効果を最大限に発揮させるためには、正しく利用し、定期的に更新することが必要です。また、フィルターの設定が変更されないように、パスワードも設定しておく必要があります。ただし、フィルターは不適切な「テキスト」を振り分けることはできますが、「画像」はできないということを心にとどめておいてください。フィルターでは写真をチェックして不適切かどうか判断することはできないのです。

また、フィルターやインターネットの利用について、子供の学校や公共図書館の方針を調べてみることもよいでしょう。

子供に「お気に入り」や「ブックマーク」を使うように教える。 たいていのブラウザは、「ブックマーク」や「お気に入り」が利用できるようになっています。この仕組みを使うと、特定のウェブサイトに素早く簡単に行き着くことができます。サイトの名称を覚えておく必要も、その都度検索をする必要もありません。家族皆の「お気に入り」リストを作っておくことは、家族がインターネットで見るのはどんなものが適切かを判断するのに役立つ良い方法です。

ポルノグラフィーを提供するウェブサイトの中には、URL(ウェブページのアドレス)に、人気のあるサイトや検索サイトと紛らわしいアドレスを使い、自分たちのサイトに誘導しようとするものがあります。試しにあちこちのサイトをのぞいてみたり、検索をかけたり、URLのアドレスを打ち込んだりするのではなく、「お気に入り」や「ブックマーク」を利用すれば、この種の問題は避けることができます。

信頼できる検索ソフトを使うよう子供に教える。 数多くの小さな検索エンジンは、営利だけを追求しています。人を食い物にする、つまりポルノグラフィーを売りつけようとする者たちは、実際にある特定の「語句」を買い取り、その語句をインターネットで検索すると自分たちのウェブサイトへ誘導されてくるように仕組みでいます。そのサイトの内容が、検索をかけた語句と関係があるか否かにはかわりありません。例えば、人気のあるおもちゃについて情報を得たいと検索をする子供が、まったく思いもかけずに、ポルノグラフィーのサイトにアクセスしてしまうことがあります。ですから、それを防ぐ最善の



方法は、広く利用されていて、認知度の高い検索エンジンを利用することです。

しかしながら、どんな検索エンジンを使って、どんな検索をしようとも、好ましくない内容に出会うことはあります。ですから、いきなり検索エンジンを利用するのではなく、オンライン百科事典のようなサイトを利用するように子供に教えるとよいでしょう。このような百科事典サイトでは、検索したテーマに関してほかのリンクが張られていることがよくあります。

インターネットのポップアップ広告遮断ソフトを利用する。 ポップアップ・ウィンドウは、コンピューターの画面に自動的に現れるもので、たいていはユーザーの見ているウェブのページとはまったく無関係です。ポップアップ・ウィンドウの中には、ポルノグラフィーが含まれていたり、不快なウェブサイトへ誘導したりするものもあります。大手プロバイダーの多くや検索エンジンの一部では、ポップアップ広告を防ぐための無料のソフト(ブロッカー)をダウンロードすることができます。ブラウザによっては、ブロッカーがすでに組み込まれているものもあります。

インターネットから無料ソフトをダウンロードするときには、十分に警戒するよう子供に教える。 インターネットからいつでもダウンロードできる一見無害に見えるプログラムの中には、ユーザーの同意を得ているかどうかにかかわらず、同時にインストールされてしまう別のソフトが含まれていることがよくあります。こういったプログラムは、「アドウェア」とか「スパイウェア」と呼ばれていて、アイコンがコンピューター画面の右下隅に出ていることがあります。「スパイウェア」は、ウイルスを通じてコンピューターに入り込んで来ることもあります。

**コンピューターを
家の中でも
家族が
いちばん出入りする
場所に置いておき、
信頼できる大人が
必ずそばにるように
してください。**



自分の家族の標準がどのようなものなのかを、子供たちに確実に理解させてください。そうすれば、家族から離れて住むようになって、インターネットを利用する自分自身の行いを管理できるようになるでしょう。

「アドウェア」や「スパイウェア」はたいてい、インターネット利用者の使用履歴を追跡し、アクセスしたウェブサイトをとどめて、利用者のコンピューターに宣伝用のバナーやポップアップ・ウィンドウを送り込みます。しかしながら、「スパイウェア」によっては、資金の提供者がいて、どのようなサイトにアクセスしたかにかかわらず、利用者のコンピューターに勝手に自分たちのウェブページを送り込むものもあります。この種のソフトは利用者のコンピューターの中であって独自のプログラムで動くため、防御のために導入しておいたポップアップ・ブロッカーやほかのツールであっても、防ぎようがありません。

「スパイウェア」は、どんなキーを打ったかを記録し、その記録をセントラル・サーバーに送り込みます。すると、「スパイウェア」の作成者は、コンピューター上で入力されたものをすべて盗み見ることができるのです。クレジットカードの番号、パスワード、電子メールのアドレスといった個人情報など、入力したものがすべて特定できるほか、ハードディスク内のファイルもすべて読み取られてしまいます。

ウイルス対策用のソフトではこのようなプログラムを駆除することはできませんが、「アドウェア」や「スパイウェア」をコンピューター内から駆除するための専用ソフトを購入することは可能です。

無料のピアツーピア・プログラムやチャット系のプログラムを使ってダウンロードしないように子供に教える。ピアツーピア(P2P)のファイル・シェアリングやネットワークを使うと、音楽などのメディアを低価格あるいは無料でダウンロードしたり、「シェア」したりできます。しかし、これには著作権侵害の問題が起きやすく、たいていのピアツーピア

のファイル・シェアリングは違法です。特に、コンピューターのユーザーが自分の知らない人とそのようなファイルを売買すると、完全に違法となります。また、たいていのインターネットのフィルターは、ピアツーピアのファイル・シェアリングをブロックできません。

一般的なウイルスや低俗な内容のデータは、ピアツーピアのファイル・シェアリングを通じて広まるのがよくあります。人を欺く者たちは、ポルノグラフィやウイルスの名前を、ポピュラーソングやアーティスト、映画の名前に変えて、疑うことを知らない利用者を自分たちのサイトへと誘惑しようと企んでいます。ひとたび一度そのようなサイトがダウンロードされ、コンピューター上で開かれると、ユーザーはいやおうなしにその内容を見ることになります。ほんとうの内容を隠そうとして変えられたファイルを駆除する方法はないのです。

子供に、正体不明の迷惑メールを開けないように教える。頼みもしないのに大量の広告メールが送られてきますが、これは「スパム」と呼ばれていて、インターネット上のポルノグラフィのおもな供給源となっています。このような方法によりポルノグラフィにアクセスしてしまうのを防ぐためには、発信者に覚えのない電子メールが届いたら、決して開かず削除するよう家族に教えてください。「スパム」の登録を解除しようとしなくてください。かえって送り手側にそのメールアドレスは有効だという情報を提供してしまうために、もっと多量の「スパム」が送られてくる可能性があるからです。「スパム」を開けてしまうと、さらに多くの「スパム」が送られてくることになり、見たくないものを見ることになってしまいます。

チャットルームを利用しないように子供に教える。最近、子供たちが世界中の仲間とコミュニケーションするために、チャットルームを利用することが広く行われるようになってきています。しかし、このチャットルームは、人を食い物にする者たちが最も好む場所でもあるのです。子供たちにチャットルームを利用しないように教えてください。コンピューターからチャットルーム用のソフトを取り除くか、またはチャットをブロックするフィルターを利用することを検討してください。

子供たちがどうしてもチャットルームを利用しなくてはならないという場合には、どの時間帯に何分利用してよいかをきちんと指示してください。そして、子供専

用に運営されている評判の良いチャットルームを使わせるようにしてください。また、子供にとってふさわしい内容かどうかをチェックします。また、チャットルームでの会話も必ず自分でチェックしてください。

自分のほんとうの名前や年齢、学校名、パスワードといった個人情報決して漏らさないように子供たちに教えてください。チャットに参加している人がどれほど無邪気な人に思えたとしても、自分を偽る略奪者の可能性があるのです。それに加えて、インスタント・メッセージやプライベート・メッセージを送ることも避けるよう、子供たちに教えてください。ウィルスやいかかわしい写真やそのほか好ましくないメッセージは、こうしたメールを交換することで送り込まれることがあるのです。

あなた次第で変えられる

コミュニケーションの主要手段はいつでもそうですが、インターネットはよきにつけあしきにつけ、非常に強力な道具になり得ます。情報を集めたり、友人や愛する人たちと絶えず連絡を取り合ったりする貴重な手段です。子供たちも学校の宿題や娯楽などの目的でしばしば使うことでしょう。そして大人になると、インターネットを利用する技術は、仕事



青少年は親の指示を必要としています

「わたしたちの教会の青少年も誘惑に……対抗するには、両親の助けが必要です。

相当の自制心が必要です。良い友達の間が必要で。こうした悪徳の洪水におぼれない力をつけるために、祈りが必要です。

息子や娘たちに対する親の指導の問題は、新しいものではありませんが、かつてないほど深刻さを増してきています。とはいえ、どの時代の人々もこれらの問題のいずれかの側面に立ち向かってきました。」

大管長 ゴードン・B・ヒンクレー
「あなたの子らの平安は深い。」
『リアホナ』2001年1月号, 62

に不可欠だと思えるようになるでしょう。

ですから、子供にインターネットを利用しないように教えることは、現実的ではありません。しかし、親には、最新の情報を得ながら、子供たちを有害なものから守るよう絶えず警戒するよう努める責任があります。自分の家族の標準がどのようなものなのかを、子供たちに確実に理解させてください。そうすれば、家族から離れて住むようになって、インターネットを利用する自分自身の行いを管理できるようになるでしょう。

家族を守るために幾つか提案をしましたが、これですべてというわけではありません。できることはほかにもたくさんあります。例えば、もし地域で生涯学習プログラムの一環としてインターネット講習会が開かれていたら、参加してみるのもよいでしょう。

大切なことは、機器の進歩に圧倒されて、警戒を緩めたり、あきらめたりしない

ことです。対抗する手段はいろいろあります。家族がインターネットで何を見るかは、あなた次第で変えられることなのです。■

マリオ・ヒボルは、カリフォルニア州アンダーソンステーク、アンダーソンワードの会員です。

語句解説

ブラウザー——www情報ネットワークでウェブページを検索したり見たりするために利用できるプログラム。一般的には「インターネット・エクスプローラー」と「ネットスケープ・ナビゲーター」の二つが広く使われているが、ほかにも数多くある。

チャットルーム——不特定多数の人がリアルタイムで相互にコミュニケーションが取れる回線上の会話の場。

インスタント・メッセージ——2者以上のコンピューターのユーザー間で、リアルタイムでメッセージの交換ができるプログラム。

インターネット・プロバイダー (ISP)——契約者にインターネットの利用を提供する業者。

検索エンジン——特定の語句を検索して、インターネットのウェブページで情報を見つけることができるオンラインサービス。

URL——Uniform Resource Locatorの略。ウェブページのアドレスを示す。

ウィルス——「感染」し、コンピューターの正常な作動を妨害する悪意ある目的で考案されたプログラム。



質疑応答

「ポルノグラフィーのせいで生活がめちゃくちゃになりそうです。見るのをやめようと努力するのですが、その度に失敗します。どうしたらよいのでしょうか。」

『リアホナ』からの提案

麻薬と同じように、ポルノグラフィーには中毒性があり、その影響力はあまりにも強いので、一人で克服することは困難かもしれません。ですからだれか支えてくれる人に、この行為をやめようとしていることを知らせなければなりません。監督または支部長、両親、および末日聖徒ファミリーサービス事務局 (www.providentliving.org 参照) から助けを得られますが、そのためにはポルノグラフィーを見る癖がさらに悪化し、抑えが利かない常習癖となる前に、状況を伝える必要があります。この人たちはあなたにとって最善のものを望んでいるので、親切に忍耐強く、思いやりをもって助けてくれます。

監督や支部長は、ポルノグラフィーを克服するのを助けてくれます。監督や支部長に話すことで、あなたを縛りつけていた力が次第に弱まり始めます。また監督や支部長、あるいは別のメルキゼデク神権者に祝福を求めることもできます。

しかし、この問題に関して人から助けを受けるのと同時に、あなた自身で次のようなことができます。

- 毎日、祈り、聖文を読み、教会やセミナー

ポルノグラフィーには強い中毒性があり、克服するには助けを受けてください。主をはじめ、監督や支部長、両親、専門のカウンセラーなどから助けが得られます。

この問題を好ましい、心を高揚させるような活動と取り替えましょう。

常に福音に添った生活ができるよう、最善を尽くしましょう。そうすれば生活の中に聖霊を招き入れることができ、正しいことをしようと望むようになります。

誘惑を受けるような状況を避けましょう。汚れた思いが頭に入って来たら、すぐにその思いを別のものに変えましょう。

に出席し、戒めを守ることによって、霊的な力を求めてください。癒しは救い主から、贖いによって得られ、悔い改めるとき、生活に贖いの効力を発揮させることができます。やがて一貫して義にかなった生活をするので心が改まり、この誘惑に引かれることはなくなるでしょう。

- 誘惑されると分かっているような状況避けてください。一人でインターネットを使わないようにしましょう。不適切なビデオや雑誌などは捨ててください。テレビのスイッチを切りましょう。

- ポルノグラフィーをただ見ないようにするだけでは十分ではありません。見ないようにしたうえで、さらに何か好ましいことを行ってください。例えばスポーツをしたり、健全な書物を読んだり、良い音楽を聴いたり、趣味や関心事に時間を使ったり、家族や友人と時を過ごしたりするのです。

- 福音にあって成長するための目標を立ててください。ポルノグラフィーを克服することで、伝道や神殿結婚、若い男性であれば神権者としての奉仕などのふさわしい祝福を受けてください。

どんなに必死で努力しても、最初のうちはポルノグラフィーを見るという誘惑が付きまとうで



しょう。そのようなときは、すぐに別のことを考えたり、状況を変えたりしてください。祈ったり、賛美歌を歌ったり、聖文を読んだりして、御霊を招き入れましょう。誘惑に屈するか、それとも反発することを一瞬でも迷うようなことがあれば、恐らく負けてしまうでしょう。

時として誘惑に負けてしまうようなことになっても、希望を失ってはなりません。すべてが終わったわけではありません。どんなに時間がかかっても、最善の努力をし、主や人の助けを得れば、必ずこの問題を克服することができます。

読者からの提案

わたしにもポルノグラフィーに関する問題がありました。そのとき、誘惑に打ち勝つ方法を幾つか見つけました。毎日聖文を読み、祈っていると、誘惑はずっと少なくなります。負けそうなときには、コンピューターを消して何か別のことをするようにしました。よくない思いを断ち切るために、だれかのそばにいないければならなかったこともあります。いったんポルノグラフィーについて考え始めると、その思いを行動に移さないようにするのはもっと難しくなるので、別のことを考えるように努力します。易しいことではありませんが、主が助けてくださいます。主はあなたを愛していらっしゃる

るので、努力して悔い改めれば、必ず赦してくださいます。

匿名



ポルノグラフィーから遠ざかっていたいとほんとうに望むなら、神の導きを求めて祈り、断食することです。誘惑が心に忍び込んで来たら、聖文を読み、キリストを思い起こし預言者の言葉について考えてください。

ナイジェリア・ポートハーコートステーク

ミニ-オコロワード

エジョケオジエネ・フェイス・イモー、19歳



このような忌まわしいものを見ないようにするためには、心の底から悔い改めなければなりません。祈り、断食し、もっと聖文を読み、天の御父と地元の指導者の助けを求めてください。主は克服するのを助けてくださるでしょう。なぜなら主は、罪を憎まれますが、罪人を愛してくださるからです。

ブラジル・ポルトアレグレ南ステーキ
ニコウルフワード
ロドリゴ・バロス・ソアレス, 19歳

第1に、希望を失わないでください。主は助けたいと望んでおられます。主の導きを求めて祈ってください。どんなに深く罪に埋もれていても、主はあなたに祈ってほしいと望んでおられることを決して忘れてはなりません。第2は、問題について両親に話すことです。両親は、誘惑を受けやすい状況を選ばれるように助けてくれるでしょう。それから監督に話してください。監督はあなたを愛しており、誘惑を克服する方法を考え悔い改めへの道を歩み始める手助けをしてくれるでしょう。
ユタ州レイトン北ステーキ、オークフォレスト第2ワード
マット・スミス, 18歳



自分は天の御父の息子または娘だということを、いつも心に留めてください。サタンがわなに陥らないように、天の御父を生活の中心にしてください。セミナーまたはインスティテュートに登録しましょう。正しい選択をするよう、教師は助けてくれます。また教会は良い機関誌を発行してくれています。

フィリピン・バコロド北ステーキ、バタワード
マリア・ペロニカ・S・ペニャフィエル, 15歳



できるだけインターネットを使わないようにしましょう。サタンが最も誘惑しやすい方法だからです。また、ポルノグラフィーについて話すような人とつきあわないことです。そのような人とつきあうと、またポルノグラフィーを見るように誘惑されるでしょう。

ワシントン州タコマステーキ、クレセントパレーワード
カイル・ラシュトン, 13歳

コンピューターのポルノサイトをブロックするよう試してみてもどうでしょうか。でも不意にそのような画面が出てきた場合には、すぐにコンピューターのスイッチを切って、頭の中からその考えが消えるまで聖文を読みま



「霊的な毒から癒されるための大切な」

ステップは、
ひざまずいて天の御父に赦しを求めます。
正しいことを行う望みを求めて祈ってください。
……両親や監督に話すための勇気を求めて祈ってください。
皆さんに恐れがあっても、彼らは皆さんを愛しています。
決して独りで行う必要はありません……。
両親や指導者が貴重な励ましや助けを与えてくれます。」

七十人会長会
デビッド・E・ソレンセン
「毒蛇と戯れてはならない」
[リアホナ]2001年7月号, 50

しょう。ポルノグラフィーに関連のあるもの、あるいは類似するものをすべて捨て去りましょう。そしてポルノグラフィーを見ないように励ましてくれる人たちと時間を過ごすようにしましょう。

アリゾナ州クイーンクリーク東ステーキ
スカイラインワード
ローレン・セマデニ, 17歳

監督からの指示を求めましょう。自分を霊的に高めるような目標を、監督と一緒に立てることもできます。そうすれば、この世の快樂はつかの間であり、福音の喜びは永続することが分かるでしょう。

ブラジル・ブラジリア・タグアティンガステーキ
ブラズランディアワード
モイセス・フランシスコ・ダ・シルバ, 18歳



主に祈りましょう。主は助けなしに放っておかれません。でも自分でその衝動と戦い続けなければなりません。夜遅い時間には誘惑が強くなるので、遅くまで起きていないようにしましょう。毎

晩寝る前に聖文を読むように心がけてください。コンピューターを使う場合には、だれかにそばにいてもらい

イギリス・ヨークステーキ、ハロゲートワード
ナタリー・ヒル, 16歳

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

あなたの意見を聞かせてください

青少年の読者の皆さんへ——下記の質問に対する意見を、氏名、生年月日、住所、ワードおよびステーキ(または支部および地方部)を明記のうえ、写真を添えて、2005年9月15日必着で下記まで郵送か電子メールでお送りください

あて先——Questions & Answers 9/05
50 East North Temple Street, Floor 24
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
電子メールアドレス——cur-liahona-imag@ldschurch.org

質問

「人生はどうしてこんなに厳しいのでしょうか。試練のない日は訪れるのでしょうか。どうしたら試練に耐えられるのでしょうか。」■

人生の目的に関する知識を 喜びとする



以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。

自分の経験や証を伝え、あなたが教える人々にも同様に分かち合うよう勧めてください。

預言者ジョセフ・スミス——「偉大な救いの計画は、よくよく注意を払うべき主題であり、人類に与えられた天の最善の賜物の一つと見なすべきものです。」(History of the Church, 第2巻, 23)

神がその子供たちのために立てられた計画とは何でしょうか。

モーセ1:39——「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。」

大管長会と十二使徒定員会——「前世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。」(「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号, 49)

アブラハム3:24-25——「わたしたちは……これらの者が住む地を造ろう。そして、わたしたちはこれによって彼らを試し、何であろうと、主なる彼らの神が命じられるすべてのことを彼らがなすかどうかを見よう。」

七十人 ブルース・C・ハーフェン——「人のふるさとは地球ではありません。

せん。わたしたちは学校に来ているのです。そして、ふるさとに帰るために、『偉大な幸福の計画』という教えを習得しようとしています。……必要があって、この計画は、主にも人にもとげと涙を与えます。しかし、わたしたちは主とともに救いに取り組んでいるため、主とともにあらゆる反対のものを克服するとき、『計り知れない喜び』を味わうことができるのです。キリストの贖いはこの計画の最も中心を成します。」「(贖い——すべてを受けるためにすべてをささげる」『リアホナ』2004年5月号, 98参照)

十二使徒定員会 ヘンリー・

B・アイリング——「神が万物を創造し、人に命をお与えになったのは、わたしたちが必要な経験を積み、神のもとに戻って、ともに永遠の命にあずかれるようにするためです。それは人の性質が変化してのみ可能となります。主イエス・キリストを信じる信仰と心からの悔い改め、そして神と聖約を交わし、その聖約を守ることによって性質を変えなければならないのです。」(“Education for Real Life,” Ensign, 2002年10月号, 16)

神の計画を喜びとすることは、試練のときにどのような助けとなるでしょうか。

十二使徒定員会 ニール・A・マックスウェル(1926-2004年)——「天の御父が定められた、驚くべき深遠な救いの計画を理解しないまま、この世の試しと意味を理解しようとする

ことは、3幕から成る演劇のうちの第2幕だけを見て全体を理解しようとするようなものです。わたしたちは幸いにも救い主イエス・キリストと主の贖罪を知っているのに、苦難に耐えることができるのと同時に、苦難の中に目的を見いだし、また理解できない事柄については神に頼ることができます。」「(「よく堪え忍ぶ」『リアホナ』1999年4月号, 10参照)

中央若い女性会長 スーザン・

W・タナー——「イエス・キリストの贖いは、試練に堪え忍ぶための唯一の道です。わたしたちは最善を尽くした後に、主の力に頼らなければなりません。……へりくだって主を求めるとき、主は祈りにこたえてくださいます。」(“How Will They Know Unless We Teach Them So?” [若い女性のオープンハウスでの話, 2003年秋]) ■



最良の 場所

ヨーロッパの
ヤングシングルアダルトにとって、
インスティテュート・
アウトリーチセンターは
信仰や交友を深める
最良の場所です。

ジャネット・トーマス
教会機関誌

ビシャーカ・ラム
にとって、それは
すべてインドで始
まりました。友達と一緒に「イ
ンスティテュート」と呼ばれている
ものに招待されたのです。宗教に
は関心がなかったのでためらいました
が、結局行くことにしました。初めて行っ
たとき、そこでは小人数の生徒が永遠の
結婚に備えるというテーマで勉強してい
ました。ビシャーカは目を丸くしました。
「ほんとうにそんなことを話し合ってい
たんですよ。わたしはヒンズー教徒と
して育ったので、永遠の結婚という



概念は持っていませんでした。でも興味がわいてきました。すべてが純粹で分かりやすかったからです。まるで真珠を眺めている気分でした。ほんとうに美しい光景でした。」

ビシャーカはインドで教会に入る機会はありませんでした。交換留学制度でドイツのベルリンに行ったからです。けれどもインドで非常に興味を持った教会やインスティテュートのクラスを忘れませんでした。ビシャーカはベルリンに着くと宣教師に電話しました。そしてここでもインスティテュートに招かれたのです。それはまさに、ベルリンのインスティテュートですばらしい変化が起きようとしていたときでした。教会はステークセンターの隣に新しいインスティテュート用の建物を建設したばかりだったのです。この共有の建物にはバレーボールやバスケットボールができる体育室、台所、休憩室、図書室、そして多くの教室があります。このセンターは、「インスティテュートを通して手を差し伸べる」というインスティテュートの新たな強調点を達成するために利用されます。

温かい歓迎

約1年半前に、大規模な試みが中央ヨーロッパで始まりました。それまでの課題は、会員はどのように教会に来ているヤングシングルアダルトを支え、強めていくか、教会から離れた人たちが再び教会に出席できるようにするにはどうしたらよいか、そしてどうやってその年齢層の人たちを改宗に導くことができるか、ということでした。

その答えが、ヤングシングルアダルトに手を差し伸べて、居心地よく感じる場所、仲良くなり、教えを受ける場所を提供することでした。

最初の段階は、様々な活動やクラスに対応できる施設を確保することでした。たちまち4つの施設がオープンしました。その4つの施設はインスティテュート・アウトリーチセンター(訳注—英語の「アウトリーチ[outreach]」とは、手を差し伸べることを意味する)と名

ベルリン・インスティテュートで

ダンスパーティーの飾り付けをする(左から)

レーサ・ソルキール、

クリスティーナ・マリンコビッチ、

ビシャーカ・ラム、

パーツ姉妹、

シドバツ姉妹、

ミロスラフ・リマック、

サム・アリ、

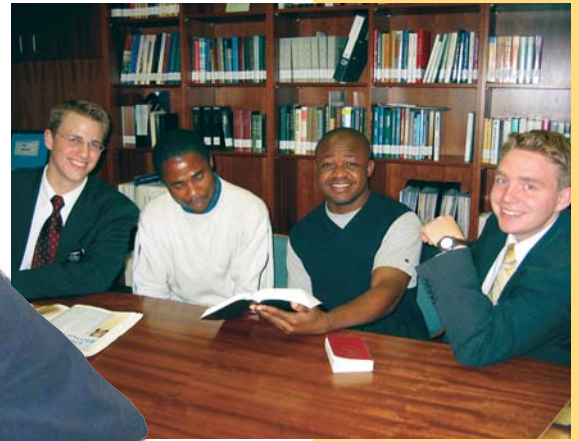
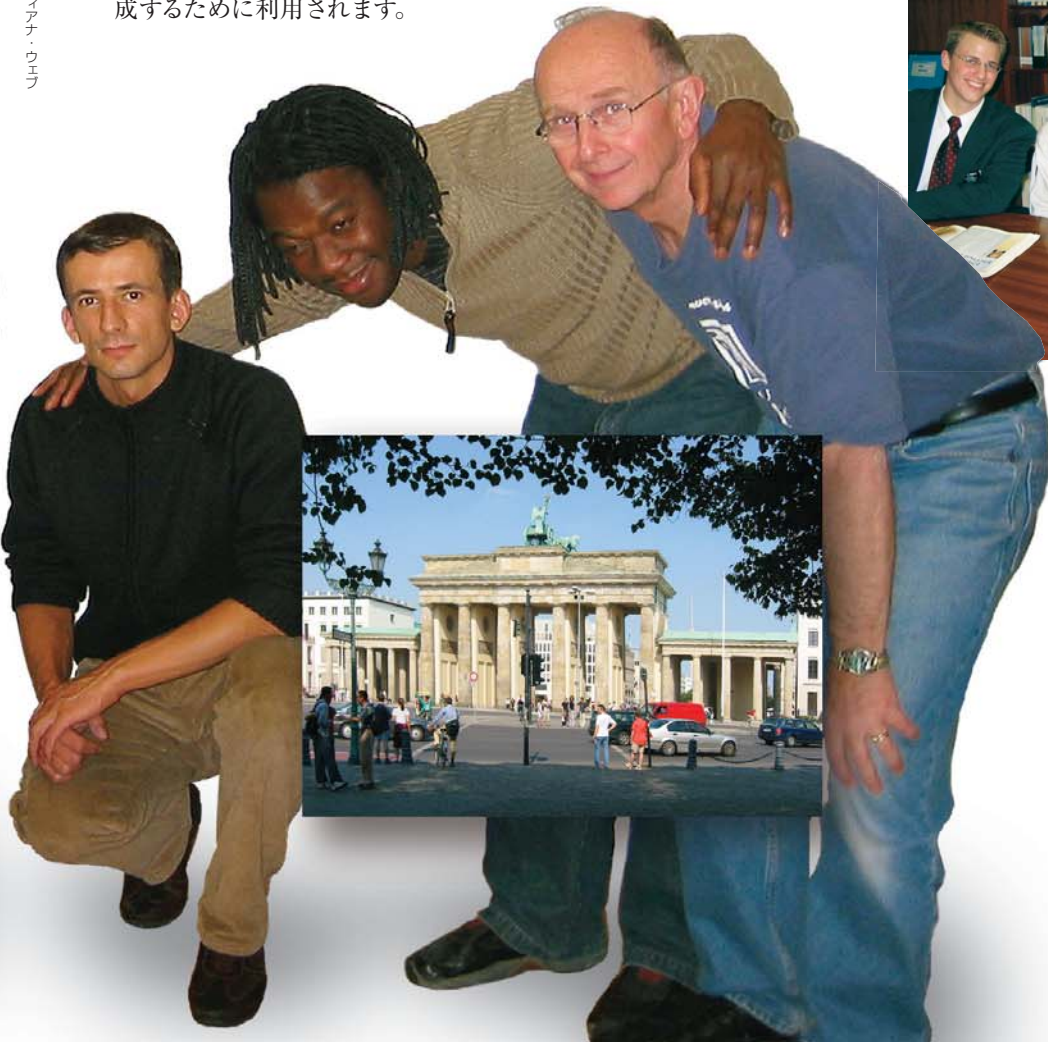
アレクサンダー長老。

下—ハンブルグ・インスティテュートのドア。

最下段—クリスティーナ・マリンコビッチは、

インスティテュートの活動を通して

教会に興味を持つようになりました。





上 —この教会
歴史クラス
のようなイン
スティテュートのクラスは、
教会について知りたい
という強い望みを
満たすのに一役
買っています。
下—ズーラ・テンゲスは
アウトリーチセンターを
通して教会を知りました。

付けられ、デンマークのコペンハーゲンとドイツのベルリン、ハンブルク、ライプチヒにあります。ドイツのデュッセルドルフにも後に完成し、現在もさらに幾つかのセンターを設置しているところ。このようなセンターは一日中または午後から夕方まで開館しています。若い人たちはただ立ち寄りたり、クラスや活動に来たり、図書室やコンピューターを勉強に使ったりします。また家に一度戻って再びクラスに出て来る必要をなくすために、みんなで夕食を作ることもできます。家が遠くて、放課後や仕事が終わって一度家に帰ってしまうと再びインスティテュートのクラスや活動に来られない人もいます。

「インスティテュート・アウトリーチセンター」という名は、施設の名称でもあります。そこで行われる活動についても説明しています。そこはヤングシングルアダルトが学びに来て、同じ信仰を持った友人を見つけることができ、戸惑うことなく教会に熱心に集えるようになる、皆が受け入れられる場所なのです。また宣教師にとっては、福音を学んでいる同年代の人たちを招待できる場でもあります。

カール・ウェブ長老とディアナ姉妹は、インスティテュート・アウトリーチセンターの地域コーディネーターとして召された夫婦宣教師です。二人はこう説明しています。「ここは若い人たちがあらゆる種類の活動を行うために集える場所^{みなま}で、友情の手を差し伸べられ、御霊を感じる場所でもあります。そして教会に再び集えるようになる場所です。」

伝道活動を変える

インスティテュート・アウトリーチセンターの「アウトリーチ(手を差し伸べる)」は伝道活動をも意味しています。1組または2組の宣教師と専任の夫婦宣教師が各センターに割り当てられています。18歳から30歳までの教会に熱心に集っている会員、あまり教会に来ていない会員、また教会員ではない人のために働きます。そのため、ステークと教会教育システムの共同の取り組みである同センターは、大学があり若者が多く住む町に設置されています。

若者向けに特別に設けられた場所があるというだけで、すでに伝道活動にも変化が現れています。ウェブ長老は大学のキャンパスで若い独身の学生たちに話しかけていた二人の宣教師について話してくれました。声をかけた最初の10人からはあっさりと断られていました。そこで方法を変えてみました。独身の若者のために、あらゆる種類の活動とクラスがあるすばらしいセンターがすぐ近くにできたことを話すことにしたのです。それから30人に声をかけたところ、28人と福音について深く話すことができたと言教師は報告しました。

ズーラ・テンゲスは、宣教師が差し伸べた手が届いた若い女性です。ズーラはモンゴルからドイツに来ました。英語を学びたいと思っていたときに、インスティテュートで開かれていたクラスを知りました。ズーラはこう述べています。「クラスは無料でした。それが気に入ったんです。長老たちに会い、教会について教わりました。ほんとうはあまり宗教に興味はありませんでしたが、キリスト教についてはもっと理解したいと思いました。」

ティーアガルテンワードに所属する21歳のズーラは、ベルリン・インスティテュートでの活動や友達に引かれていきました。「インスティテュートはとてすばらしいところでした。友達もたくさんできました。その友達のほとんどが今伝道に出ています。教会を知るのにすばらしい場所でした。」ズーラはバプテスマを受けてから1年が過ぎました。

40年のラブストーリー

ティーアガルテンワードに所属する23歳のク

リステイーナ・マリコビッチは、アウトリーチセンターに専任の夫婦宣教師がいる利点は、長い教会員生活を送る二人がヤングシングルアダルトの模範になっていることであると感じています。

クリステイーナは最初、姉に連れられてインスティテュートに来ました。こう話しています。「最初は興味がありませんでした。でも好感が持てました。正しい決断をして、正しい行いをしている若い人たちの姿をうれしく思いました。それにみんな楽しそうでした。アルコールがなくても楽しいなんて、ちょっとした奇跡に思えました。今ではわたしもそうなっています。」

クリステイーナはセンターに配属されている夫婦宣教師のトーマス・アレクサンダー長老とマリリン姉妹と知り合いました。「二人がいるおかげで、インスティテュートはもっと魅力的な場所になっています。長い年月を一緒に過ごしてきた夫婦がどういふものかを見せてもらっています。40年も幸せに連れ添って、今でも愛し合っているなんて、すばらしいことだと思います。今でも恋人同士みたいですよ。」

ダーレムワードに集う24歳のビルギット・プレスも同じように思っています。「インスティテュートはすばらしいところで、強い御霊が宿っています。そしてすばらしい夫婦宣教師がいます。リラックスできて楽しいところです。」

アウトリーチセンターでは差し迫った現実問題にもこたえています。ハンブルクで、ある若い男性が教会に戻ろうと頑張っていました。彼には仕事がなかったので、夫婦宣教師はたくさんの時間を使って、履歴書をコンピューターで作る手伝いをしました。この男性は二人と打ち解けて、インスティテュートセンターにもなじんできました。そして再び教会に熱心に集うようになったのです。

ライブチヒの軍の基地に駐留していたある若い男性は、アウトリーチセンターを知り、クラスや活動に定期的に参加するようになりました。軍の生活は家での生活とは大きく違ったため、同じ理想を持つ人たちと交わることを望んでいたのです。グリフィス長老はこう述べています。「ある晩、彼は活動が終わりかけていたときにやって来ました。こんなに遅くなってまで、どうしてわざわざ来たのかと尋ねると、こう言ったのです。『来ないわけにはいきませんでした。必要だったんです。』」

再びビシャーカの話

ランクビッツワードに所属する26歳のビシャーカは、バプテスマを受けてまだ1年半しかたっていないときに、インスティテュートの学生評議会会長に召されました。現在ベルリンのアウトリーチセンターでは、活動やクラスのない夜はほとんどありません。ビシャーカは教会歴史クラスに、25人の学生と

もに出席しています。ビシャーカによると、そのクラスはベルリン・インスティテュートの中でも「学生が非常に多いクラスです。」彼女はもっと活動を増やしたいと張り切っています。博物館やコンサートに行く機会を増やしたり、ゲームなどのより楽しい活動を企画したり、映画鑑賞会やもっと多くの証会も開いたりしたいと思っています。ビシャーカはこう言います。「まだダンスクラスがないので、ぜひやりたいですね。」

アウトリーチセンターの成果が見え始めています。ヤングシングルアダルトは、必要を満たしてくれる安全な場所を見いだしています。もし家族の中で唯一の教会員であれば、センターで家庭の夕べに出席することができます。もし良いアドバイスをしてくれる人が必要ならば、耳を傾けてくれる人を見つけることができます。また、標準が守れるかどうか心配せずに楽しいことをしたいのであれば、センターにはそのような活動があります。そして主とその教会についてさらに学びたいと望めば、クラスを取ることができるのです。

必要であればどのようなことでも、アウトリーチセンターでは助けてくれます。そこは人生の嵐から避難できる、平安を得られる場所となりつつあるのです。■

成長し前進する

ベルリンのインスティテュートディレクターであるホルスト・グルーズはこう言います。「アウトリーチセンターでヤングシングルアダルトの文化を築いていきたいと思っています。ステーキセンターが改装され、インスティテュートの施設が増設されました。この施設はステーキ内の120人近くのヤングシングルアダルトに対応できます。」

ここでは夫婦宣教師が指導者として働き、家庭の夕べを開いたり、宗教、指導力、結婚の備え、聖文研究のクラスを開いたりしています。また、生ける預言者の教え、英語やほかの言語、伝道の備えなどの実践的なクラスもあります。帰還宣教師に教師になってもらっています。ステーキのスポーツ大会やダンスパーティー、バーベキュー、奉仕活動、そしてコンサートや講演会などの大規模な行事も行っています。

御業に対する新たな熱意も感じられます。そして、あまり教会に来ていない会員や教会員ではない人々に特に焦点が当てられているのです。」



七十人 定員会



七十人会長会
アール・C・ティンギー

神権定員会とその目的に関する シリーズの第7回

恐らく皆さんは、末日聖徒として、中央幹部や地域七十人が地元の教会や中央の集会で話すのを聞いたり、あるいはこうした指導者の話を教会機関誌で読んだりしたことがあると思います。しかし七十人定員会の成り立ちや七十人の働きについては理解しているでしょうか。

初めにそのことについて手短かに話します。1835年2月、預言者ジョセフ・スミスはこの神権時代における最初の七十人を召しました。以来、教会の発展に伴って変化する必要にこたえるため、七十人の召しは次第に広がっていきました。1975年、スペンサー・W・キンボール大管長は、七十人第一定員会を再組織しました。さらにその翌年、十二使徒補助として召されていた21人の男性が七十人に聖任され、第一定員会の会員になりました。その10年後、1986年には全教会のステークにあった七十人定員会がなくなり、七十人として働いていた兄弟たちは、長老定員会に所属するか、または大祭司に聖任されました。

さらにその3年後の1989年に、七十人第二定員会が組織されました。この定員会の会員の在任期間は5年です。第一定員会の会員は、70歳になるまで働き、その後は名誉会員の称号を与えられます。ただし大管長会と十二使徒定員会の決定により、1年づつ任期が延長する場合があります。

この二つの七十人定員会の会員は中央幹部であり、大管長会と十二使徒定員会から責任を与えられます。七十人第一、第二定員会の兄弟たちは、専任で働き、世界のどこかで教会を管理するように割り当てを受けることがあります。

七十人の義務

末日の啓示には、七十人は「福音を宣べ伝え、……全世界に対する〔イエス・キリストの〕特別な証人となる」と明確に述べられています(教義と聖約107:25)。さらに七十人には「十二使徒会……の指示の下に主の名において行動し、……教会を築き上げ、すべての国々において教会の諸事をすべて整える」責任があります(教義と聖約107:34)。

七十人の召しがほかの召しとは異なる独特のものであることは、啓示の中にはっきりと述べられています。「〔十二使徒〕は、福音を宣べ伝え、福音を施すために、様々な召しを果たすに当たって助けを必要とするときには、ほか

七十人定員会の
会員は、
協力と一致により、
また「完全な義により、
聖さとへりくだった心
により」責任を果たす
ように努めています。

の人々ではなく、七十人に要請しなければならない。」(教義と聖約107:38)

七十人は新たに神権の鍵^{かぎ}を授けられるわけではありませんが、大管長会や十二使徒定員会から与えられる一つ一つの責任に対して、それを成し遂げるための権能を委任されます。

中央幹部七十人は、定期的に定員会集会を開きます。教会本部で働く責任を与えられている七十人は、毎週定員会集会に出席します。こうした定員会集会では通常、教義や教会歴史に関する指導や訓練が行われますが、時折、十二使徒や七十人会長会から指導を受けます。

新たに加えられた七十人定員会

大管長会と十二使徒定員会は、1997年に七十人第三、第四、第五定員会を組織しました。また2004年には七十人第六定員会が、さらに2005年4月には七十人第七および第八定員会が組織されました。この6つの定員会には、現在195人の会員が所属しています。こうした定員会の会員は、世界各地に住んでいる忠実な兄弟たちであり、地域七十人と呼ばれています。このように彼らは中央幹部七十人と区別されています。

地域七十人は、監督やステーク会長のように、自宅で生活しながら教会の責任として召しを果たしています。指定された年数にわたってその責任を果たします。中央幹部七十人と同様の責任を受けますが、その働きが世界的なものではなく、地元の地域に限定されているという点が異なっています。

この6つの定員会は地理的な区分によって組織されています。第三定員会には、ヨーロッパおよびアフリカ在住の地域七十人が所属します。第四定員会には、メキシコと中央アメリカならびに南アメリカ北部在住の地域七十人が、第五定員会には、アメリカ西部ならびにカナダ西部在住の地域七十人が、そして第六定員会には、アメリカおよびカナダ両国の中部、南部、東部さらにはカリブ海諸島在住の地域七十人がそれぞれ所属しています。第七定員会には、ブラジルと南アメリカ南部在住の地域七十人が、第八定員会には、アジア、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島およびフィリピン在住の地域七十人が所属しています。

これら6つの定員会は、毎年1度、4月の総大会の期間中にソルトレーク・シティで集会を行い、さらにもう1度、地理的に区分された地域ごとに指定された場所で集会を行います。啓示には、「おどろ園における働きで当然必要とされれば、

七十人定員会会員は、イエス・キリストの「特別な証人」と呼ばれている。

(写真は総大会において大管長会ならびに十二使徒定員会会員、管理監督会とともに撮影されたもの)





**七十人定員会は
「全世界で(主)の名
について証」する
責任がある。**

**七十人会長会は、
これらの定員会を
管理している。**

前列左から

アール・C・ティンギー、

D・トッド・

クリストファーソン、

デビッド・E・ソレンセン、

チャールズ・ディディエ、

後列左から

メリル・J・ベイトマン、

ジョン・H・グローバーク、

ロバート・C・オックス

の各長老。

70の7倍まで」(教義と聖約107:96), 新たな七十人定員会を設置することができると規定されています。

七十人会長会

七十人会長会は、こうした七十人定員会のすべての会員を管理します。七十人会長会は、7人の会員で構成され、七十人第一定員会もしくは第二定員会の会員で、大管長会から召され、七十人を管理するための権能を与えられています。

「わたしの名について証する」

預言者ジョセフ・スミス^{きよ}の時代に確立された規範に従って、現代の七十人定員会は「わたしの使徒たちが、わたしの前に道を備えるために彼らを遣わす所であればどこでも、全世

界でわたしの名について証する巡回長老のために設けられている」のです(教義と聖約124:139)。

七十人定員会の会員は、協力と一致により、また「完全な義により、聖さとへりくだった心、柔和と寛容により、また信仰、徳、知識、節制、忍耐、信心、兄弟愛、および慈愛により」責任を果たすように努めています(教義と聖約107:30。27節も参照)。

七十人は、大管長会と十二使徒定員会の指示の下で働けることを大いなる特権であると考えています。七十人会長会の一員として、この教会の靈感された組織に感謝しています。



黄金でできた版。 でも、刻まれた言葉には 黄金以上の価値がある。

モルモン書をよく味わってください。その価値は計り知れません。
(モルモン8:14参照)





■ 1831年11月 預言者が受けた啓示を出版する準備が整う。その本は「戒めの書」(Book of Commandments)と名付けられる。

■ 1832年4月 預言者ジョセフはミズーリを短期間訪れる。

■ 1833年1月 預言者の塾がカートランドで始まる(教義と聖約88章参照)。



■ 1831年12月 ニューエル・K・ホイットニーがオハイオで監督に召される(教義と聖約72章参照)。

82-83

■ 1832年6月 預言者ジョセフはオハイオに戻り、聖書の翻訳を続ける。

■ 1832年9月 預言者ジョセフは家族をハイラムからカートランドに戻す。

85

86-88

89

■ 1832年10-11月 預言者ジョセフとニューエル・K・ホイットニー監督は、東部の町を数か所訪ね、教会の務めを果たす(教義と聖約84:114-115参照)。

■ 1832年1月 ジョセフ・スミスが大権の大管長に聖任される(教義と聖約75章参照)。

■ 1832年3月 暴徒が預言者ジョセフとシドニー・リグドンにコールタールを塗り、その上から鳥の羽根をかける。預言者の家族は短期間カートランドに戻り、その後ハイラムに戻る。



65-66

1, 67-70, 133

71-72

73-75

76

77-81

99

84

特定できない日付もある。

教義と聖約

早見表

表2—第65章から第137章まで

歴史的背景および「教会歴史」(History of the Church)の該当箇所に関しては、教義と聖約各章の前書きを参照してください。

教会歴史に登場する人々



オハイオ

■ 1833年夏。長老の塾がミズーリで組織される。

■ 1833年7月 ミズーリの暴徒が教会の印刷所を破壊する。教会指導者はジャクソン郡を立ち退く合意書に無理やり署名させられる。



■ 1833年10-12月 ミズーリで武力闘争が勃発し、聖徒はジャクソン郡から追われる(教義と聖約100:13, 15; 101章参照)。

■ 1833年11月-36年6月 ミズーリの聖徒はクレイ郡で比較的平穏に過ごす。

■ 1833年6月5日 カートランド神殿の建設が始まる。

■ 1833年7月2日 預言者ジョセフとシドニー・リグドンが聖書のおもな翻訳を完了する。



ニューヨーク

■ 1833年12月18日 預言者ジョセフは父ジョセフ・スミス・シニアを教会の最初の祝福師に聖任する。

■ 1834年2月17日 教会で最初の高評議会がカートランドで組織される。

■ 1834年2月-5月 預言者らは、シオンの贖いに加わる人を募る(教義と聖約103章参照)。

ミズーリ

■ 1834年5月 シオンの陣営と呼ばれる一隊がミズーリへの旅を開始する。ミズーリ到着時、隊の人数は200人以上だった。

■ 1834年6月 シオンの陣営は、主の命令に従い、流血を避けるために解散する(教義と聖約105章参照)。



章(表中の丸数字も参照), その章の啓示が与えられた日付および状況。

- 65. 1831年10月。ジョセフ・スミスが一つの祈りと称した章。預言者が聖書の翻訳を再開する準備をしているときに与えられた。
- 66. 1831年10月25日。改宗後間もないウィリアム・E・マクレランは、自分に対する御心を明らかにしていただきたいと主に求めた。
- 67. 1831年11月。預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示の出版に関して開かれた大会で、幾人かの兄弟は啓示で使われている言葉遣いが適切でないと感じた。それに関して、預言者を通して主の答えが与えられた。
- 68. 1831年11月。オーソン・ハイド、ルーク・S・ジョンソン、ライマン・E・ジョンソン、ウィリアム・E・マクレランが、自分たちに対する主の御心を知りたいと願った。
- 69. 1831年11月。オリバー・カウドリは『戒めの書』(Book of Commandments)の原稿と教会の資金をミズーリ州インディペンデンスに運ぶように任命された。途中の荒れ野がしばしば危険なため、ジョン・ホイットマーが同行者として召された。

- 70. 1831年11月12日。大会の最後に、主は、教会のすべての公式文書とその出版に関する管理責任を、以下の人々に与えられた。預言者ジョセフ、オリバー・カウドリ、シドニー・リグドン、ウィリアム・W・フェルプス、ジョン・ホイットマー、マーティン・ハリス。
- 71. 1831年12月1日。エズラ・ブースが背教し、『オハイオスター』紙(Ohio Star)に、9通の中傷的な手紙を投稿した。預言者ジョセフとシドニー・リグドンは、出て行って教えを説き、その手紙によって生じた教会に対する悪感情を静めるよう命じられた。
- 72. 1831年12月4日。数人の長老と会員が、自分の務めを知り、教えを受けるために集まった。
- 73. 1832年1月10日。1832年1月25日に、オハイオ州アマーストで大会が開かれることになっていた。教会の長老たちは、大会までになすべきことを知りたいと願った。
- 74. 1832年1月。この啓示は、聖書を翻訳していた時期に、コリント人への第一の手紙第7章14節の説明として与えられた。

- 75. 1832年1月25日。アマーストの大会で長老たちは、世の人々が自らの状況を理解できるように助ける方法を知りたいと熱心に願った。数人の宣教師がおもに合衆国東部で伝道するように召された。
- 76. 1832年2月16日。預言者ジョセフとシドニー・リグドンは聖書の翻訳に携わっていた。ヨハネによる福音書第5章29節を翻訳した後、天が開かれ、「示現」として知られるこの啓示を受けた。
- 77. 1832年3月。ヨハネの黙示録を翻訳していたころ、兄弟たちはヨハネの書いたものについて多くの疑問を抱いていた。
- 78. 1832年3月。預言者ジョセフは、奉獻の律法について、また貧しい人のために倉を設けることについて、神権指導者に指示を与えた。
- 79, 80. 1832年3月。ジェレド・カーターは、預言者を通して主の御心を知るために、オハイオ州ハイラムへ来た。ジェレドは東の地方で伝道するように召された。対照的に、ステイブーン・パーネットとイーデン・スミスは、どこでも自分たちが選んだ地で伝道するように召された。



ヒーバー・C・キンボール 1801-68年



オーソン・ハイド 1805-78年



ウィリアム・W・フェルプス 1792-1872年



エライザ・R・スノー 1804-87年



メアリー・フィールディング・スミス 1801-52年

左—絵/ロバート・T・バレット。上(左から)「戒めの書」の写真/エルドン・K・リンショウテン。「ニューエル・K・ホイットニーの店にいるジョセフ・スミス」ポール・マン画。複写は禁じられています。「暴徒に襲われる預言者ジョセフ」サム・ローラー画。複写は禁じられています。「カートランド神殿の建設」の一部、ウォルター・レーン画。「ミズーリ州ジャクソン郡を追われる聖徒たち」および「シオンの陣営」C・C・A・クリステンセン画、ブリガム・ヤング大学美術館の厚紙より掲載。複写は禁じられています。下—ヒーバー・C・キンボールとオーソン・ハイドの版画/フレデリック・ホーキンス・ピアシー作

オハイオ州カートランド, 第2期: 1832年9月-1838年1月

ミズーリ州ファーウェスト: 1838年3月-

1835年2月 十二使徒定員会と七十人定員会が組織される(教義と聖約107章参照)。

107

1835年7月 教会はエジプトのミイラ数体と巻物を購入する(アブラハム1-5章参照)。

134

1835年8月17日 聖会において、聖徒は啓示を教義と聖約として出版することを受け入れる。

108 137



1836年夏 聖徒がミズーリ州ファーウェストに定住し始める。

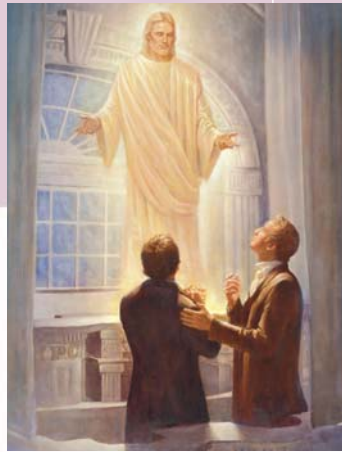
1835年後期-36年前期 教会初の賛美歌集が出版される。

109 110

111

1836年3月27日 カートランド神殿が奉獻される。大いなる霊的な現れが起こる(教義と聖約109章参照)。

1836年4月3日 イエス・キリストがカートランド神殿に御姿を現し、神殿を受け入れられる。さらにモーセ、エライアス、エリヤが現れて、神権の鍵を回復する(教義と聖約110章参照)。



1837年7月-38年4月 イギリスで最初の宣教師たちが約1,500人の改宗者にバプテスマを施す。



112

1838年1月 預言者ジョセフと数人の教会の指導者がカートランド外に逃れることを余儀なくされる。

1838年4月 数人の著名な教会指導者が背教し、破門される。その中の数人が預言者の敵となる。

117-120

1838年3月 預言者ジョセフとその家族がミズーリ州ファーウェストに落ち着く。

1838年7月8日 十二使徒が、外国で福音を宣べ伝えるようにと、主から指示される(教義と聖約118章参照)。

114-115

113

116

1838年8-10月 教会員とミズーリの住民の間で武器を使った紛争が勃発。教会員の多くが自衛のためにファーウェストに集合する。

81. 1832年3月。大管長会を正式に組織する準備をしていたときに与えられた章。この章は、もとはジェシー・ガウスのために与えられたものであったが、ジェシーは背教し、その召しはフレデリック・G・ウィリアムズに移された。

82. 1832年4月26日。第78章で、預言者ジョセフは、シオンへ行き、指導者たちに奉獻の律法を教えるようにという指示を受けていた。ジョセフはシオンへ行き、オハイオで支持されたように、集会で大神権の大管長として支持を受けた。

83. 1832年4月30日。シオンへの短期訪問中、預言者は、奉獻の律法の下で、夫を亡くした婦人やその子供がどのように扱われるかについて教えた。

84. 1832年9月22-23日。長老たちが帰還し、東部諸州での伝道の報告を行っていた(教義と聖約75章参照)。

85. 1832年11月27日。預言者がウィリアム・W・フェルプスにあてた手紙の抜粋。フェルプスは、エドワード・パートリッジ監督が奉獻の律法を実施するに当たり、監督を補佐するために選任されていた。

86. 1832年12月6日。聖書を翻訳し、その原稿を校訂していたときに、預言者ジョセフに与えられた啓示。麦と毒麦のたとえを説明している。

87. 1832年12月25日。預言者ジョセフが戦争に関して受けた預言。聖徒は、当時起こっていた国内外の紛争について心配していた。

88. 1832年12月27-28日。預言者ジョセフが、大祭司の集会で、啓示を受ける方法について教えた。出席していたすべての兄弟が順番に主に祈り、心と思いが一つになり主の御心を受けられることができるようにと願った。その結果、「オリブの葉」として知られるこの啓示が与えられた。127節から141節は1833年1月3日に与えられた。

89. 1833年2月27日。預言者の塾に出席していた兄弟の多くがたばこを使用していたため、塾が不潔になった。そこで、預言者が主に尋ね求めたところ、「知恵の言葉」として知られるこの啓示が与えられた。

90. 1833年3月8日。預言者と兄弟たちの祈りの答えとして与えられた啓示。この啓示は、大管長会を確立するための一つの段階であった。

91. 1833年3月9日。預言者は聖書の靈感翻訳をしていたが、その際使っていた聖書には、現在の欽定訳聖書(King James Version of the Bible)には含まれていない「聖書外典」(Apocrypha)が収められていた。預言者の問いに対して、主は、聖書外典は翻訳する必要がないことを示された。



ウィラード・リチャーズ 1804-54年



ジーナ・D・H・ヤング 1821-1901年



ジョージ・A・スミス 1817-75年



パツバ・W・スミス 1822-1910年



フレデリック・G・ウィリアムズ 1787-1842年

1839年2月

イリノイ州ノーブー: 1839年5月-1846年2月

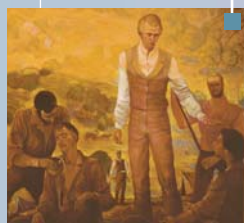


1839年4月 リバティの監獄に数か月間収容された後に預言者がイリノイに到着し、聖徒のための土地購入について交渉を始める。

1838年10月 ミズーリ州知事が聖徒に対する軍事行動を命令する。ファーウェストが民兵により包囲される。預言者と教会の指導者は約束を裏切られて州役人に捕まる。

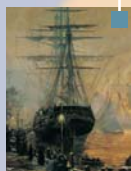
121-123

1838年11月-39年2月 ブリガム・ヤングとヒーバー・C・キンボールが、数千人の聖徒を率いてイリノイ州に避難する。



1839年7月 大勢の会員がマラリヤに感染。預言者ジョセフ・スミスが、神権の力によって多くの人を癒す。

1839年8-9月 イギリスで福音を宣傳するため、十二使徒たちが出発する。



1840年6月 イギリスの聖徒がノーブーへの移住を開始する。

1840年8月 預言者が死者のためのバプテスマの教義を教え始める。

ノーブー イリノイ

124 125

1841年1月 大管長会から、すべての聖徒にノーブーに集合することを強く勧める宣言が発表される。

1841年4月6日 神殿建設の命令を主から受けていた聖徒たちは(教義と聖約124章参照)、ノーブー神殿の隅石を据える。

1841年4-7月 イギリスで数千人にバプテスマを施した後、十二使徒の多くがノーブーに帰還する。



1841年10月24日 オールソン・ハイドが、ユダヤ人の帰還のために聖地を奉獻する。

126



1842年3月17日 ノーブー女性扶助協会が組織され、エマ・スミスが会長となる。

1842年3-5月 ウェントワース書簡(信仰簡条を含む)とアブラハム書が出版される。

1842年5月4日 預言者が数人の聖徒に神殿のエンダウメントの儀式を執行し始める。

92. 1833年3月15日。フレデリック・G・ウィリアムズが大管長会の一員に召される。主はウィリアムズ兄弟に共同制度の一員となるように言われた。

93. 1833年5月6日。預言者は旧約聖書の翻訳に従事していた。

94. 1833年5月6日。印刷所の建設、さらに預言者の塾を開く建物を建設する資金を集めるために、集会の中で一つの委員会が任命された。この啓示はその直後に与えられた。

95. 1833年6月1日。ハイラム・スミス、ジェレド・カーター、レイノルズ・カフーンは、教会の建築プロジェクトの資金調達委員に任命された。この3人は、6か月前に与えられた主の宮を建てるという神の命令を達成するために、聖徒を鼓舞する通知を出した。第95章は通知を出した日に与えられた。

96. 1833年6月4日。大祭司の集会に集まった兄弟たちは、教会が購入した土地の責任者を決定することができなかったため、主に尋ねることになった。主は、聖徒たちに土地を分配する責任を、ニューエル・K・ホイットニー監督に与えるよう告げられた。

97. 1833年8月2日。長老の塾に関するこの啓示は、オリバー・カウドリやシオンの兄弟たちから送られた数通の手紙への答えとして与えられた。

98. 1833年8月6日。ミズーリの聖徒は激しい迫害に遭っていた。この啓示は、彼らの祈りへの答えとして与えられた。

99. 1832年8月。ジョン・マードックに与えられた啓示。

100. 1833年10月12日。伝道中の預言者とシドニー・リグドンは、自分たちの家族のことが気がかりだった。

101. 1833年12月16日。ミズーリ州ジャクソン郡の聖徒の追放を知らされた預言者は、どうすべきか主に尋ねた。

102. 1834年2月17日。この章は最初の高等評議会の組織に関する議事録である。預言者は示現で明らかにされた古代の形式に添って、教会の評議会を開始した。

103. 1834年2月24日。ミズーリの聖徒は、シオンにおける聖徒の受け継ぎの地を取り戻す方法を見つけるために、バーリー・P・ブラットとライマン・ホワイトを送った。この啓示の中で、預言者はシオンの陣営を組織することを承認された。

104. 1834年4月23日。教会の財政を安定させるため、共同制度は個人の管理の職に分配されることになった。

105. 1834年6月22日。シオンの陣営がミズーリ州クレイ郡に到着する直前、知事が援助の約束を反故にした。そのため、受け継ぎの地を取り戻すことができなかった。

106. 1834年11月25日。預言者ジョセフが長老の塾を準備していたときに、ウォレン・A・カウドリに関して与えられた啓示。

107. 1835年3月28日。東部諸州への伝道の準備として、十二使徒は、自分たちの働きの指針とするために、明文化した主の啓示を得ることを願った。

108. 1835年12月26日。七十人の会長(会長は7人)の一人であったライマン・R・シャーマンは、御霊の導きを受けて預言者のもとへ行った。ライマンは預言者に気持ちを伝え、啓示によって自分の義務を告げられた。

109. 1836年3月27日。啓示により、カートランド神殿の奉獻の祈りが預言者ジョセフに与えられた。

110. 1836年4月3日。カートランド神殿が奉獻されて1週間後の集会で、預言者ジョセフとオリバー・カウドリは幕を隔てて会衆から離れ、教壇のそばで無言の祈りをささげた。祈りを終えたとき、栄光に満ちたこの示現を見た。



レイルズ・カフーン
1790-1861年



メアリー・アン・ヤング
1803-82年



パーリー・P・ブラット
1807-57年



サラ・M・グレインジャー・
キンボール
1818-98年



エリザベス・アン・
ホイットニー
1800-82年

上(左から)「主、カートランド神殿に現れる」デル・パーソン画。「イギリスにおける最初の福音の実」ロバート・T・バレット画。「リバティの監獄のジョセフ・スミス」©GREG K. OLSEN. ザ・ビジョンズ・オブ・フェイス(THE VISIONS OF FAITH)コレクションから、フロリダ州ベニス、ミル・ボンドプレス社刊。複写は禁じられています。「ノーブーにおける癒し」ゲアリー・E・スミス画。複写は禁じられています。絵/ケン・バクスター。「ユダヤ人の帰還に備えて聖地を奉獻するオールソン・ハイド」クラーク・ケリー・ブライスマン。複写は禁じられています。最初の扶助協会の絵/ポール・マン。下(左から)ウィラード・リチャーズの版画/フレデリック・ホーキンス・ピアシー作。「ジーナ・ディアンサ・ハンティントン・ヤング」ジョン・ウィラード・クロソン画。教会歴史美術博物館の厚意により掲載

イリノイ州ノーブー：1839年5月-1846年2月

1843-44年 太平洋諸島における伝道活動が開始する。

129

130 131

132

1844年6月27日 イリノイ州カーセージにおいて預言者ジョセフ・スミスとその兄ハイラムが暴徒に殺害される。



1844年8月8日 教員は、プリガム・ヤングを会長とする十二使徒定員会を教会の管理組織として支持する。



111. 1836年8月6日。マサチューセッツ州セーレムで資金を得られると聞いた預言者ジョセフ、シドニー・リグドン、ハイラム・スミス、オリバー・カウドリは、教会の多額の負債を軽減できると期待してセーレムに出かけた。

112. 1837年7月23日。この章は、十二使徒定員会会長のトーマス・B・マーシュが十二使徒定員会を導くことができるように、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた。

113. 1838年3月。ミズーリ州ファーウェストに到着して間もない預言者に、エライアス・ヒグビーとそのほかの教員が、イザヤ書の聖句について質問した。

114. 1838年4月17日。デビッド・W・パッテンは、ほかの十二使徒たちと伝道へ行く準備をするように勧告を受けた。

115. 1838年4月26日。ファーウェストで与えられたこの啓示により、ファーウェストを築き上げるべきこと、そこに神殿を建設すべきこと、また教会の正式名称について、神の御心が知らされた。

116. 1838年5月19日。アダム・オンダイアーマンを訪れたときの預言者ジョセフの日記からの抜粋。

117. 1838年7月8日。ウィリアム・マークスとニューエル・K・ホイットニーは、まだカートランドに残っていた。オリバー・グレインジャーは彼らの務めを指示するこの啓示を携えて送り出された。

135

1845年12月10日 神殿のエンダウメントが、ノーブー神殿内のすでに奉獻された場所で始まる。

1845年冬-46年 預言者ジョセフの預言に従い、聖徒はロッキー山脈への移動を計画する。

1846年2月 西部に向かう最初のグループがノーブーを出発する。



1845年9月 イリノイにおいて聖徒に反対する活動が再燃する。

1846年5月 ノーブー神殿が公に奉獻される。



1846年6月 最初の開拓者の一隊がミズーリ川に到着する。

118. 1838年7月8日。「おお、主よ、十二使徒会についてのあなたの御心をわたしたちにお示ください」という願いに応じて (*History of the Church*, 第3巻, 46参照), ミズーリ州ファーウェストで預言者ジョセフを通して与えられた啓示。

119. 1838年7月8日。教会とその指導者の財政難、および、聖徒たちが奉獻の律法を守らなかったことに対して、この啓示が与えられ、^{じゅうぶん} 十分の一の律法が全教員に与えられた。

120. 1838年7月8日。兄弟たちは十分の一として納められた財産の配分について知ることを願った。

121, 122, 123. 1839年3月。リバティーの監獄にいた預言者ジョセフ・スミスは、迫害を受けて苦しむ聖徒のために主に懇願した。

124. 1841年1月19日。聖徒がノーブーに集合すると、預言者ジョセフは主に導きを求め、様々な導きを受けた。特に大切なこととして、神殿建設に関する指示を受けた。

125. 1841年3月。ノーブーにおける神殿の建設計画が発表されると、ミシシッピ川の対岸にいる聖徒をノーブーに移すべきか否かの質問が持ち上がった。

126. 1841年7月9日。外国での務めを終えたプリガム・ヤングは、この啓示により、将来外国を旅することを免除された。

127, 128. 1842年9月1, 6日。死者のための儀式が無秩序に、記録をつけることもなく執行されていたため、この指示が与えられた。預言者から与えられたこの2通の手紙に、死者のためのバプテスマに関する指示が記されている。

129. 1843年2月9日。サタンが^{しつよう} 聖徒を欺こうとしていたため、神からの使者と悪魔を見分ける方法を教える必要があった。

130. 1843年4月2日。オーソン・ハイドが行った説教を預言者ジョセフが訂正したもの。18節から23節は預言者の説教。

131. 1843年5月16-17日。数人の聖徒を訪れた折に、預言者は教義に関する様々な声明を出した。1節から4節は預言者が神権について教えていたときに宣言したもの。

132. 1843年7月12日。ハイラム・スミスの要請を受けて記録された章。ハイラムは永遠の結婚の原則が真実であることをエマ・スミスに確信させるために、啓示を明文化することを願った。

133. 1831年11月3日。「戒めの書」を出版する計画をしていたとき、「付録」としてこの啓示が授けられた。

134. 1835年8月17日。この世の政府が制定した法律に関する宣言。教会の立場が誤解されることのないように、教義と聖約の初版に挿入するものとして備えられた。

135. 1844年6月27日。預言者ジョセフ・スミスの殉教について、ジョン・テラーが記したもの。

136. 1847年1月14日。プリガム・ヤング会長は、西部への旅に備えてどのように聖徒を編成すべきか知る必要があった。(これに関しては表3で採り上げる。)

137. 1836年1月21日。完成間近なカートランド神殿において開かれた教会の指導者の集会で、エンダウメントの最初の部分の儀式が執行された。参加者は示現と啓示を受けた。この啓示はそのときに預言者ジョセフ・スミスに授けられたもの。



ニューエル・K・ホイットニー
1795-1850年



プリガム・ヤング
1801-77年



ジョン・テラー
1808-87年



ウィルフォード・ウードラフ
1807-98年



ロレンゾ・スノー
1814-1901年

御存じでしたか？

それは8月の出来事でした

1850年8月12日——
デンマーク・コペンハーゲンで最初の改宗者15人が、
十二使徒定員会のエラスタ
ス・スノー長老からバ



エラスタス・スノー

プテスマを受けました。

1861年8月5日——末
日聖徒の最初の宣教師が
オランダに到着しました。

1970年8月1日——エク
アドル伝道部が組織

されました。
現在エクア
ドルには3つ
の伝道部があ
ります。

1977年8月
24日——スペンサー・
W・キンボール大管長
が、福音を宣べ伝えるためにポーランドを奉獻しました。



今日のわたしたちを導くために

イギリスの改宗者である末日聖徒のウィリアム・ファウラーは「感謝を神に捧げん」(『賛美歌』11番)の歌詞を書きました。ジョセフ・F・スミス大管長(1838-1898年)は、この賛美歌が初めて歌われたのは大管長がイギリスで伝道していたときのある集会中だったと述べました。大管長は1860年から1863年まで伝道しました。ファウラー兄弟はキャロライン・ノートンの「葬送行進曲」(The Officer's Funeral March)の旋律に歌詞をつけました。戦没者のために書いた曲が、今は神の生ける預言者を賛美していると知ったら、この曲の作者はは驚くかもしれません。



指導者へのヒント

教会で奉仕するとき、あなたには天の御父に導きを求めるという祝福と責任があります。十二使徒定員会のヘンリー・B・アイリング長老はこう言いました。「[召しにおいて]あなたは自分の能力以上の力を受ける権利があり、孤軍奮闘する必要はないのです。主はあなたの言葉と行いを、あなたが仕える人々の目に大いなるものとされるでしょう。聖霊を送り、あなたの語ることが真実であることを明らかにされるのです。あなたの言動は、本来の能力や理解力をはるかに超えて、人々に希望と導きを与えることでしょう。」「(神からの召し)『リアホナ』2002年11月号、75-76)

末日聖徒 IQを試してみましょう

教義と聖約はすばらしい啓示に満ちています。教会がどのように機能するかを教え、イエス・キリストの福音に対するより深い洞察を与えてくれます。次のよく知られた啓示と記されている章を組み合わせてください。

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 栄光の3つの階級 | a. 教義と聖約4章 |
| 2. 永遠の結婚 | b. 教義と聖約20章 |
| 3. 神権の誓詞と聖約 | c. 教義と聖約25章 |
| 4. 伝道活動に携わるための資格 | d. 教義と聖約76章 |
| 5. 聖餐の祈り | e. 教義と聖約84章 |
| 6. 賛美歌を編さんするようにとのエマ・スミスへの召し | f. 教義と聖約121章 |
| 7. ジョセフ・スミスの殉教に際してジョン・テラーが語った言葉 | g. 教義と聖約132章 |
| 8. 召される者は多いが選ばれる者は少ない理由 | h. 教義と聖約135章 |

エラスタス・スノーの版画／フレデリック・ホーキンス・ピアシー。エクアドルの地図／パデペロップメント社。「すべては善し」グレン・S・ホフキンソン画。複写は禁じられています

87, 88 — 1d, 2g, 3c, 4a, 5b, 6c, 7h, 8f



わたしはカウンセリングの訓練を受けたこともありませんでした。信仰を捨てることなく夫婦のきずなを守ろうとしているこの男性に、どのような助言ができるというのでしょうか。

思いもしなかった助言

バート・ベンソン

フェルナンドは静かに本を閉じると、顔を上げてこちらをじっと見ました。一筋の涙が頬をゆっくりと流れ落ちます。フェルナンドの妻マリアは隣に座っていましたが、まるでるか遠くにいるかのようでした。彼女は恐れと嫌悪の入り混じった表情で夫を見ていました。ついにフェルナンドは、涙をぬぐいもせずにごう言いました。

「分かりました、長老。バプテスマを受けます。」その声は穏やかでしたが、確信に満ちていました。

その瞬間、妻は急に立ち上がりました。座っていたいすは傾き、後ろに倒れました。妻は血相を変え、夫を指差してこう言いました。

「どうしてそんなことができるの？ イエスの教えを捨てて、こんな白人や北アメリカの預言者の教えを信じるなんて。聖書に背を向けて、よくこんな偽りの聖典を信じることができるわね？ あなたは愚か者よ、おまけに悪い人間だわ。神があなたの罪深い魂を隣れんでくださいますように。」そして後ろを向くと、さっと部屋から出て

行ってしまいました。

フェルナンドはため息をつき、申し訳なさそうに言いました。「ほんとうは優しい女性なんです。賛成はしないにしても、そのうち分かってくれるはずです。」

それから数か月後、すでにバプテスマを受けていたフェルナンドは、礼拝堂に入って来ていつものように後方の席に座りました。困惑しているようでした。支部長の責任を果たしていたわたしは、壇上から彼を見ていました。わたしは幾度となく、フェルナンドがこちらをじっと見ているのに気づきました。

集会が終わり、会衆が玄関からベネズエラ・アンデスの湿った空気と外の日差しの中に出て行くと、フェルナンド

は話すことができるかと尋ねてきました。妻とまたけんかをしたのです。信仰に対する確信が日々強まる中、見いだした喜びを説明しようとしたのですが、妻は聞こうとしませんでした。それどころか娘を連れて出て行くと言ったのです。その言葉を聞いてフェルナンドも怒りました。そして互いにののしり合って涙を流し、小さなアパートの中で家庭内別居を始めたのです。

「どうしたらいいのでしょうか。」フェルナンドはそう尋ねました。

わたしははすに腰かけたまま、自分の肩にのしかかる責任の重さにおののいていました。わたしは当時20歳で、まだ結婚していませんでした。10代のころに女性とつきあおうとしましたが長くは続かず、多くを学びましたが、苦い思いも味わいました。両親の結婚生活は18年で破綻しています。カウンセリングの訓練を受けたこともありません。信仰を捨てることなく夫婦のきずなと家庭を守ろうとしているこの男性に、どのような助言ができるのでしょうか。

わたしは慰めと希望を与えるような月並みな言葉を並べようとした。ところが、ある思いがそうした決まり文句を押しつけ、口から言葉になって出てきたのです。今回に限っては、わたしのたどどしいスペイン語もよどみなく、コミュニケーションの妨げにはなりません。

わたしはこう言いました。「兄弟、今度奥さんとバプテスマについて話すときに、怒りやいらだちを感じたら、話すのをやめてください。しばらく黙っているのです。そして奥さんをしっかりと抱き締めてあげてください。それから奥さんを愛していること、感謝していること、また奥さんがかけがえのない存在であることを伝えてください。」

フェルナンドは拍子抜けした様子でこちらを見ていました。恐らく、夫婦のきずなを取り戻すための説教や偉大な原則を期待していたのでしょう。まだ続きがあると思っていたフェルナンドは、わたしが次に何か言うのを待っていました。しかし、ほかに言うことは何もありませんでした。

「分かりました。支部長。」フェルナンドはそう言うと、それ以上何も言わずに重苦しい表情で部屋を出て行きました。

翌週、フェルナンドはまた礼拝堂にやってきました。しかし、今度は軽い足取りでした。背筋を伸ばし、目を輝かせ、微笑を浮かべていました。集会の間、小さい子供のようにずっとそわそわしていました。集会が終わると、フェルナンドは支部長室にきました。

「支部長！支部長！」小声でしたが、興奮した様子でした。「何が起こったか信じてもらえないでしょう。でも言われたとおりにやってみたのです。妻と信仰やバプテスマについて話し合ったとき、妻はまたわたしを非難し、だまされているのだと言いました。どなって、妻が間違っていると言いたかったのですが、支部長の言葉を思い出しました。そこでしゃべるのをやめ、ひと息置いてから妻を見詰めました。互いに愛し合ってきた年月や妻に対する愛情を思い起こすよう努めました。すると妻もわたしの目を見て何か感じたらしく、怒りが和らいだのです。わたしは妻を引き寄せ、抱き締めました。そして妻を愛し、感謝していること、また妻がかけがえのない存在であることを静かに伝えました。二人とも涙を流しました。それから体を寄せ合って座り、うれしかったことや苦しかったことなど、これまでの経験を振り返って何時間も語り合いました。そ

してもう一度、妻を抱き締めました。数週間ぶりに互いの愛を感じました。ありがとうございます。」

翌月、わたしは伝道を終え、その地をたつてアメリカ合衆国へ帰還する長い旅路に就きました。帰郷はうれしかったのですが、任地を去るのはつらいことでした。その後もフェルナンドとは手紙をやり取りしました。希望の持てる出来事や失望したことなどを知らせてくれました。妻はまだ夫と同じ信仰の道に入ってはいませんが、以前より夫の信仰に寛容になり、敵意をあらわにすることも少なくなりました。フェルナンドによれば、それはまだ出発点でしたが、妻を語る言葉には愛情があふれていました。いつしか連絡は途絶え、長い年月が過ぎました。しかし、フェルナンドから得た教訓には今でも鼓舞されます。概念や教え、外形的な儀式ではなく、愛こそが人の心を和らげるのです。■

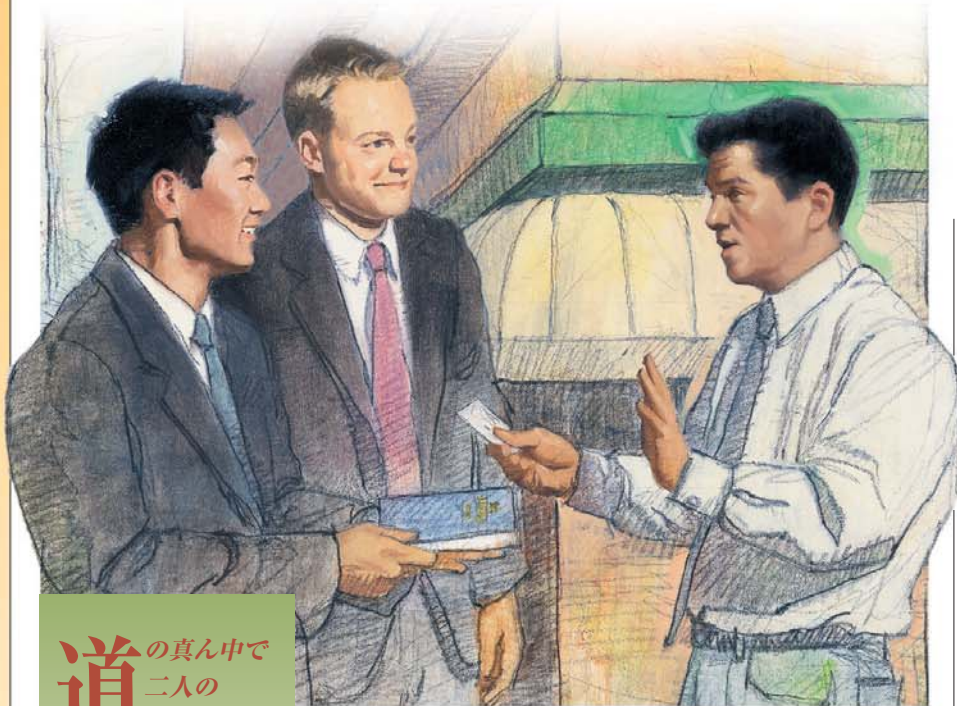
バート・ベンソンは、アイダホ州グレースステーク、グレース第2ワードの会員です。

筆紙に尽くし難い喜び

ヒルド・ロッシージョ・フロレス

30歳になるころには、人生は行き詰まっていました。わたしは飲酒癖があり、どうやって克服したらよいか分からなかったのです。ある月曜の朝、記者を勤めていた出版社で、編集長に呼び出されました。そして仕事を続けたかったら酒をやめるようにと率直に言われたのです。

その日、わたしは編集長の警告について考えながら、記事集めのため会社を出ました。すると突然、道の真中で末日聖徒イエス・キリスト教会の二人の宣教師に声をかけられたのです。聞



道の真ん中で 二人の 宣教師に声を

かけられたのです。
長く話すことは
しませんでした、
名刺を渡しました。

いたことのない教会でした。長く話すことはしませんでした、名刺を渡しました。

2日後、実家にいると母がこう言いました。「若いアメリカ人が二人会いに来ているわよ。」「アメリカ人の友達なんかいないよ」と答えると、「宣教師だと言っているわ」と母が言いました。わたしは母に言いました。「じゃあ、通してよ。応対するから。」驚いたことに、彼らは月曜日に会った宣教師でした。名刺から家を探し当てたのです。

居間に向かい合って腰かけてから、わたしは宣教師の話聞くことにしました。宣教師の一人がパンフレットを取り出して、これにはジョセフ・スミスの証あかしが書かれていると言いました。そしてパンフレットを手渡すと、読むようチャレンジしました。すると、わたしが承諾の言葉を言い終わらないうちに、もう一人の宣教師が紺色の表紙の本を取り出して言いました。「この本の最初

の150ページを読んでいただけますか。」この求めにも応じました。帰り際に宣教師はこう言いました。「金曜日にまた来ますから、目標どおりに読めたかどうか教えてください。」こうしてわたしは、福音を学び始めたのです。

福音をひとつおわり学び終わると、次の課題をもらいました。宣教師の一人がこう言ったのです。「ロッシージョ兄弟、あなたは自分の証を持たなければなりません。」もう一人の宣教師も言葉を付け加えました。「ジョセフ・スミスが確かに預言者で、モルモン書が真実の書物かどうかを神に尋ねてください。主がその問いに答えてくださることを約束します。また来週来ます。」

宣教師が再訪する前日、宣教師との約束を実行してみることにしました。そしてすでに読み終えていたモルモン書を持って来て、居間にひざまずきました。部屋にはほかにだれもおらず、静まり返っていました。わたしは祈り始めました。「天のお父様、宣教師からジョセフ・スミスが確かに預言者で、モルモン書が真実の書物かどうかをお尋ねするよう言われました。宣教師は、バプテスマを受けるためには、わたしが自分で証を持つ必要があると

思っているのです。ジョセフ・スミスは預言者なんでしょうか。モルモン書は真実なんでしょうか。」

言葉を切ると、突然、言いようのない喜びを感じました。いつまでもその感覚に浸っていたいと思いました。祈りの答えを受けたのです。宣教師が来たとき、この経験を話しました。

1971年9月11日、わたしはピウラ川でバプテスマを受けました。それから知恵の言葉を含め、福音の原則に従ってきたことで数々の祝福を受けてきました。34年がたちましたが、今でも覚えているのは、街頭で声をかけ、わたしを闇から光に引き出してくれたあの二人の宣教師のことです。■

ヒルド・ロッシージョ・フロレスは、ペルー・ピウラ中央ステーク、ロスフィカスワードの会員です。

2度守られて

パメラ・M・ムーディー

庭のポプラの葉がそよ風にひらひらと揺れていました。わたしは戸口に腰かけて太陽の光の中に身を置きながら、1年足らずで人の人生にこんなにも多くの変化が訪れるものかと、驚きの気持ちで振り返っていました。

1年ほど前、わたしは総大会や休日を楽しみに待つ代わりに、忙しくなるこれからの季節、どのようにして家族の世話をすればよいか考えていました。放射線照射や抗がん剤こうがんの投与を受ける傍ら、予定していた活動や責任をこなせるように計画しなければならなかったのです。自分をいたわりながら、家族が通常の生活を送れるようにし、教会の召しを果たすのは難しいことでした。痛やそのほかのことを乗り切

れたのは、天の御父の助けがあったからです。

そんなことを考えていた静かな時間を切り上げて、わたしは犬を飼っている囲いの中を掃除することにしました。シャベルとホースを手に取り、年老いた愛犬、ハッシュパップを囲いから出して日の当たる所に移しました。

すると、裏庭でテラスを組み立てていた夫がやって来ました。そして何も言わずにほほえんでわたしの手からシャベルを取ると、作業を手伝い始めました。わたしは驚きました。夫は寒い季節が来る前にテラスを仕上げると言っていたのです。日の高いうちにや

りかけの仕事を中断するようなことのない人でした。予期していなかった助けに感謝しながら、わたしは囲いの反対側に水をかけ始めました。

突然、夫が叫びました。スズメバチの群れに襲われていたのです。心の中で静かな声がこう言いました。「水をかけなさい。」わたしはそのとおりにしました。夫が走り回っている間も、水をかけ続けました。水のおかげでハチの群れを追い散らすことはできましたが、夫は7か所刺されていました。

最も多く刺されていた夫の

左腕の手当をしていたときに、あることに気づきました。わたしは守られていたのです。わたしはハチアレルギーがあります。しかも癌の治療のために左腕のリンパ節を切除していたのです。もしわたしが刺されていたら、ハチの毒に負けていたはずでした。水をかけてくれる人もいなかったでしょう。

愛と温かい気持ちで胸がいっぱいになりました。夫が聖霊の促しに従ってくれたことに感謝しています。わたしの命は再び守られたのです。■

パメラ・M・ムーディーは、ユタ州マレーステーク、マレー第1ワードの会員です。

突然、夫が叫び
だしました。
スズメバチの
群れに襲われていた
のです。



永遠の事柄 のための時間

アダム・C・オルソン

教会機関誌

香 ホン コン 港国際地方部ビクトリア第1(英語)支部の祭司、ネーサン・イエンは、一日のうちおよそ1時間を早朝セミナーで過ごし、学校で7時間を過ごします。通学には往復で1時間かかります。また、2、3時間で宿題をし、さらに2、3時間をピアノの練習や武道のけいこ、学校のバスケットボール部や合唱団の練習に充てています。朝食は大急ぎで済ませ、夕食に1時間くらいかけると、ほかのすべてのことをするのに残っている時間は、睡眠時間も含めて8時間くらいしかありません。

しかし、これはネーサンに限ったことではありません。彼の集っている支部のほとんどの青少年が同じように多忙ながらも、いろいろなことに興味を持って取り組んでいるのです。

ローレルのレサ・ライも学校にいる時間がネーサンよりも30分長く、通学も片道1時間かかることや、季節に応じてバレーボール、サッカー、陸上競技をしていること以外は、ネーサンと同じような生活をしています。祭司のシャン・シンはラグビー部のメンバーとしてだけでなく、生徒会の副会長としても活躍しています。

アリス・アンダーセンやセレスティーン・イエーン、ムサシ・ホウとチヒロ・ホウ、チェルシー・

メシックとケーシー・メシックをはじめ、この地方部のほかの若い男性と若い女性も同じです。

これらの青少年の毎日は、世界中の多くの10代の末日聖徒の典型的な姿です。彼らは教会活動や家族と過ごす時間、学校、アルバイト、それに課外活動を、まるでサーカスでジャグリング(訳注——複数の球、皿、ナイフなどをお手玉のように投げ上げる芸当)をしながら綱渡りをするように、バランスを取って生活しています。最も大切なものを見失うというわなに陥ることなく、そうした忙しいスケジュールをどのようにしてうまくこなしているのでしょうか。

どのようにしているのでしょうか

それは非常に価値のある質問です。ローレルのチェルシーは次のように言っています。「それはすべて優先順位の問題です。最も大切なことのために時間を取るようになれば、ほかのすべてのことも時間内にうまくこなせるものです。」

香港国際地方部のチェルシー、ネーサン、そして彼らの友達、自分たちの足を確固とした福音の土台の上に据えていれば、バランスを取りやすくなることを学んでいます。福音のために個人の時間を作ることの大切さを彼らは



ホンコン
香港に

密集してそびえ立つ
高層ビル群のように、
すし詰め状態の
スケジュールを
こなしている
末日聖徒の青少年は、
福音のための時間を
どのように捻出して
いるのでしょうか。



1

チャン・シン(左),
ネーサン・イエンと
その姉妹たち,
セレスティーンと
イレーヌ(左の挿入写真),
およびセミナーに集っている
すべての青少年(下)は,
霊的な事柄のために時間を
作ることを最優先しています。





認めています。ネーサンは次のように語っています。「それはぼくの一日の中でいちばん大切な部分です。聖文を読まず、祈らず、セミナーにも行かなければ、その日はひどい一日になってしまいます。」

レサはこう言います。「学校の友達のほとんどは教会員ではありません。ですから教会のために時間を持てるかどうかは、わたしたち自身に懸かっています。わたしは毎日聖文を読み、教会の音楽に耳を傾けるようにしています。」

優先順位に従うということは、時には良いことをあきらめて、さらに大切なことのために時間を作ることを意味しています。「あまりに忙しすぎたので、わたしはアルバイトをやめざるを得ませんでした」とチェルシーは話してくれました。ほかの青少年も皆同じような経験をしているのです。

家族を最優先する

福音に従った生活を送るこれらの若い男性と若い女性にとって、何よりも大切なものは家族です。教師の職にあるケーシーはこう言います。「家族は大切です。助けが必要なときにはいつでも家族のもとへ行けます。ぼくは家族を信頼しています。家族は永遠に一緒にいられるって信じていますから。」

でも時として、家族がそろう時間を見つける



ケーシー・メシックとチェルシー・メシック(左)、アリス・アンダーセン、およびレサ・ライ(上)は、忙しいスケジュールをうまくこなしていくには家族の助けが大切だと言っています。そこで彼らは、家族と過ごす時間を計画的に設けるようにしています。

のは難しいものです。レサの場合はこうです。「わたしのスケジュールだけの問題ではないんです。一緒の時間はなかなか作れません。きょうだいは出かけることがよくありますし、父は出張が多いんです。」

そこでこうした青少年は、家族と調整し合って、互いに時間を作る方法を捻出しなければなりません。マイアメイドのセレスティーンはこう語ります。「以前は、週末によく友達と外出していましたが、今はその時間を家族のために使うようにし、友達とは学校のある日に会うようにしています。そして父が家にいるときには、わたしたち家族はできるだけ父のスケジュールに合わせるようにしているんです。」

どの青少年も、注意深く計画を立てれば週末が家族のための時間を作るのにいちばん都合がいいと言っています。「特に日曜日」とチェルシーは言います。「日曜日は家族のために時間を使います。」

ネーサンは言います。「家族で何か活動を計画しているときには、いつもそのための時間を割くように努めています。」さらに、ネーサンの家族はいつも一緒に食事を取るようにしています。「家庭の夕べはとても大切です」とも話しています。

教師の職にあるムサシも同意見です。「家庭の夕べは、家族がともにいるのに役立ちます。我が家では家族の活動は、できるだけ土曜日に行くようにしています。ほくたちが目指しているのは永遠に家族とともに暮らすことですから、家族のために時間を作ることはとても大切だと思っています。」

賢明な選択は祝福をもたらす

霊的な成長を最優先することによって初めて、バランスの取れた生活が祝福として与えられます。



**良いものか
必要不可欠なものか**

「俗世の事柄が押し寄せ

てくると、正しくないことを最優先させてしまうことが非常に多いのです。すると、人生の根本的な目的はどこかへ忘れ去られてしまいます。サタンは善良な人々を攻撃する強力な武器を持っています。それは混乱という武器です。サタンは善良な人々の生活にいわゆる『良いもの』をいっぱい詰め込んで、必要不可欠なものが入る余地を奪うのです。あなたは無意識のうちにこのわなに陥ったことはないでしょうか。」

十二使徒定員会
リチャード・G・スコット
「第一のものを第一に」
「リアホナ」2001年7月号, 7

「福音のための時間を作ることは、霊的な生活を送るうえで不可欠だと思いません。それに、証を強めるのにも役立ちます」とムサシは言います。

福音のための時間を作ることは、シャンの言葉を借りると、良い模範を示すのにも役立つので大切です。「福音の教えに従って生活していると、人にもそれが伝わるんですね。ほくたち教会員の生き方を見ていた友達から、質問を受けることもあります。」

また、ネーサンは次のように言っています。「聖文を読まない、お祈りもしない、セミナーにも行かないという生活をしていたら、伝道の機会が来ても備えができていないことになってしまいます。」

チェルシーは、わたしたちがこの世に生きている真

の意義を思い起こすうえで、福音のために時間を作ることは良い機会になると語っています。「お祈りをしたり、聖文を読んだりすることによって、イエス・キリストを生活の柱としなければならないことを思い起こすことができます。それがわたしたちの行い一つ一つに影響を与えるのです。さもないと、忙しさにかまけて、自分たちがなぜこの地上に来たかをすぐに忘れてしまいます。」

救い主に常に心に向けるようにすれば、人生は様々な活動という球でジャグリングをしながら綱渡りをするようなものではなく、硬い大地にしっかりと立つようなものだと気づきます。ヒラマンは次のような言葉を残しています。「あなたたちは、神の御子でありキリストである贖い主の岩の上に基を築かなければならないことを覚えておきなさい。……人がその上に基を築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」(ヒラマン5:12) ■

**大都会の喧騒の中^{けんそう}に
生きる教会の青少年は、
毎日忙しい生活を
しています。
しかし、
それでも彼らは
日々着実に、
しっかりとした
霊の土台を
積み上げているのです。**





預言者への感謝

預言者と、『リアホナ』でそのメッセージを読めることに深く感謝しています。『リアホナ』の記事は、良い決断をし、主の祝福にふさわしくいられるよう助けてくれます。またほかの人々の良い模範となるよう助けてくれます。フィリピン・ナラ地方部アボルラン支部
アラン・ダブラス・バマガス

開き始めた心

バプテスマを受ける前、宣教師が数冊の『リアホナ』をくれました。そのとき読んだ記事の一つにどんなに驚嘆したか、今でも覚えています。それは2000年4月号に掲載された、ラッセル・M・ネルソン長老の「わたしたちの主——キリストなるイエス」という話でした。そのときわたしは、救い主がおられ、わたしを愛してくださること、また従うべき唯一の完全な模範であることを理解したのです。

この素晴らしい機関誌を読み始めたそのときから、わたしの心は開き始め、やがて福音を受け入れられるようになったと信じています。

リーハイの時代と同じように、わたしたちを導く『リアホナ』が現代にも与えられていることを、心から主に感謝しています。

ブラジル・

ビトリア・ダ・コンキスタステーク

ポコエス支部

ロゼアナ・R・サントス



慰めと力

『リアホナ』は、この神権時代に主が聖徒に与えてくださった、すばらしい贈り物です。この機関誌は、試練のときにあって慰めと力を与え、決して独りではないと感じさせてくれます。現代にあって羅針盤の役割を果たしてくれる『リアホナ』に心から感謝しています。真理が与えられていて、救い主に従うなら祝福を受けられることを知っています。

メキシコ・

サンルイスポシ・ベントフアレスステーク
ラスホヤスワード

セルジオ・シエラ・モクテスマ

人生の奇跡

わたしの人生において『リアホナ』は一つの奇跡です。その記事は魂に癒しをもたらしてくれます。それは困難な時期に、証と信仰を強め、希望を与えてくれます。特に2003年10月号のダリン・H・オックス長老による「時」と2003年11月号のリチャード・G・スコット長老による「無限の可能性を認識する」という記事からはよいものを得ました。この二つの記事や、光となってわたしの人生を照らしてくれるすべてのメッセージに感謝します。この機関誌を読むすべての人の心に御霊が働きかけ、その琴線に触れることを知っています。

パラグアイ・

フェルナンド・デ・ラ・モラ南ステーク

ビジャエリサワード

ヨハンナ・リカルデ

御霊が証しました

地上に神の教会があること、また『リアホナ』があることを天の御父に感謝します。2003年12月号に掲載されているオーソン・F・ホイットニー長老の「福音クラシック——イエス・キリストの神聖」という記事がとても気に入りました。この記事を読んだとき、力強い御霊を感じ、ホイットニー長老の経験が真実であると確信しました。天の御父が御自身の子供たち一人一人について目的をお持ちであることがよく分かります。またわたしたちを愛していて、一人一人が天の家に戻るよう望んでおられることを知っています。

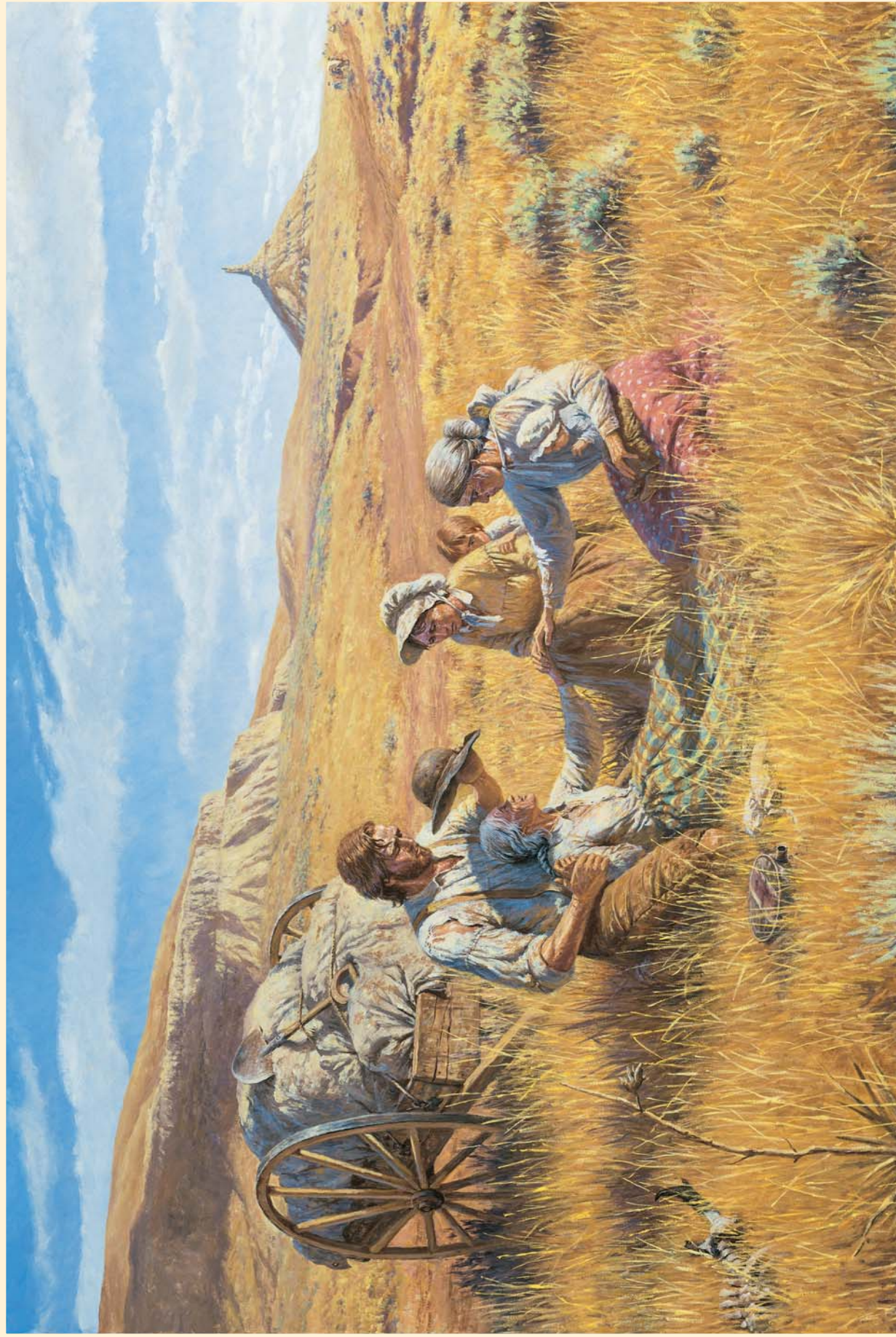
ボリビア・コチャバンバ大学ステーク
カラカラワード

キャサリン・プリシラ・テルセロ・バイダル

教義と聖約の表の訂正

『リアホナ』2005年1月号16ページ「教義と聖約 早見表」の「27. 1830年8月」の項を以下のように訂正します。「ニューエル・ナイトと妻サリーは聖餐を受けることを願った。」サリー・コバーンはニューエル・ナイトの最初の妻であり、1834年に亡くなりました。ナイトは1835年にリディア・ゴールドスウェイトと再婚しています。



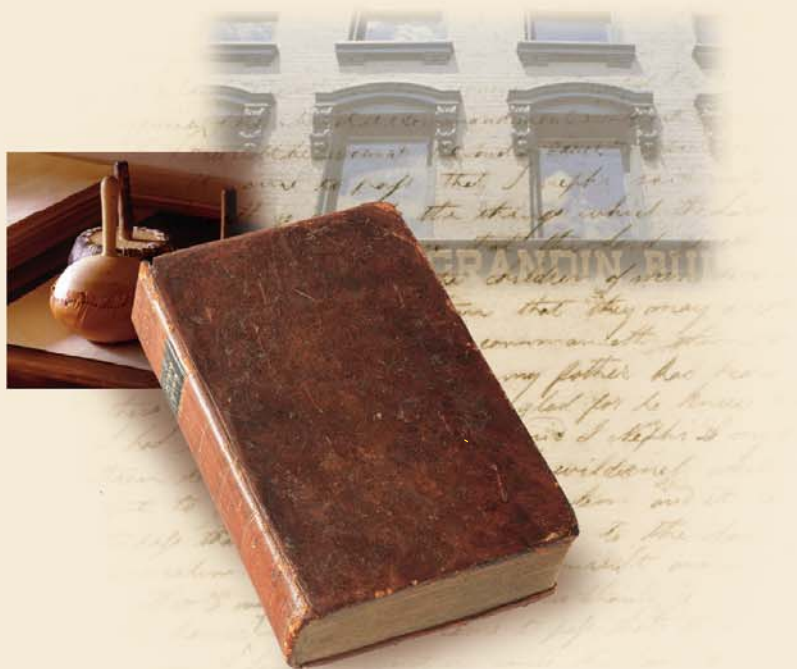


「わたしはシオンの方に顔を向けて死んだと、ジョンに伝えて」 クラーク・ケリー・プライス画

ジェームズ・ステイールは「小さなおばあさん」という名で親しまれていたメアリー・マレー・マードックの顔に帽子で影を作っている。

メアリーの体力では、ネブラスカ州のチムニーロックまでが限界だった。しかし、メアリーの霊の強さは、亡くなる間際にステイール夫妻に語った言葉に表されている。

「息子のジョンに、わたしはシオンの方に顔を向けて死んだと伝えて。」メアリーの証は、今なおその子孫の心に燃え続けている。



「**ち** ようど176年前のこの時期、
『^{なまもの}神の賜物と力により』翻訳された
モルモン書の初版が、
ニューヨーク州パルマイラの小さな印刷所で
活字に組まれ、印刷されました。
その発行は、1830年4月6日に
末日聖徒イエス・キリスト教会が設立される
先駆けとなりました。」
ゴードン・B・ヒンクレー大管長
「力強い、^{あかし}真実の証」2ページ参照